

mitsubishi

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ80 シリーズ

取扱説明書 **基本操作版**

DIATONE SOUND.NAVI



mille^{oo}sense Lane Assist open^{((()))}info Premi DIA



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

⚠ 注意



- 初期設定 (P25) が完了するまで音を出さないでください。
スピーカー破損の原因となります。

Index

Intro.

取扱説明書について5

ご使用前に

免責事項について6

ご使用上の注意7

OpenInfo について8

走行中の操作制限について8

お手入れのしかた8

商標について8

お客さまへ安全上のご注意10

本書のみかた14

基本操作

本機について15

本体パネルについて15

起動する17

SDカードについて18

SDカードを挿入する19

SDカードを取り出す20

タッチ操作のしかた21

~にタッチするとき21

リストから項目を探するとき21

タブスイッチがあるとき21

各メニュー画面について22

AVメニュー22

NAVIメニュー23

INFOメニュー24

AV

Sound Settings

初期設定25

設定できる項目について26

システム構成図27

フロントフルレンジ28

フロントフルレンジ+サブウーファー28

フロントフルレンジ+リア29

フロントフルレンジ+リア+サブウーファー30

フロント2Way31

フロント2Way+サブウーファー31

フロント2Way+リア32

フロント2Way+リア+サブウーファー33

音質の設定を変更する34

サウンドチューニング37

イコライザー設定43

PremiDIA VBL44

オーディオ機能について

基本操作45

オーディオをON/OFFする45

ディスクを挿入する/取り出す46

ディスクの取り扱いについて47

再生できるディスクの種類47

音楽ファイル

(MP3/WMA/AAC/WAV) について48

フォルダの構成について48

ラジオ/交通情報

ラジオを聴く49

表示内容について49

交通情報を聴く50

表示内容について50

DISC

音楽CDを聴く51

表示内容について51

タイトル情報を取得する53

ディスクの音楽ファイルを聴く54

表示内容について54

DVDビデオを見る56

DVDビデオの操作画面を表示する56

表示内容について57

SD/MusicFolder	60
SDカードの曲を聴く	60
表示内容について	60
MusicFolderに録音する	62
MusicFolderへの録音について	62
録音を開始/停止する	63
MusicFolderを聴く	64
表示内容について	65

iPod/USBメモリ	68
接続する	68
iPodを再生する	69
表示内容について	69
USBデバイスの曲を聴く	72
表示内容について	72

TV	74
テレビ機能について	74
受信について	74
miniB-CASカードについて	74
テレビを見る	76
はじめてテレビを見るとき	76
表示内容について	77

外部入力機器	79
Bluetooth Audioを使う	79
Bluetooth対応	
オーディオ機器を接続する	79
表示内容について	80

NAVI

基本操作	81
ナビゲーション機能について	81
ナビゲーションとは	81
GPSアンテナについて	81
地図データについて	81
ナビ画面について	82
地図表示内容について	82
NAVIメニューを表示する	84
地点メニューを表示する	85
サブメニューを表示する	86
現在地画面を表示する	86

文字入力のしかた	87
文字入力用キーボード	87
施設名称入力用キーボード	88
地図画面を選択する	89
地図の種類について	89
地図を操作する	91
スケールの切り換え	91
地図をスクロールする	91
レーンアシストを使う	92
ご使用になるには	92
ご利用上の条件	93
表示内容について	94
レーンアシスト機能を一時停止する	94
ブザー音について	94
高速道路情報について	95
表示内容について	95

目的地の設定	96
自宅を目的地に設定する	96
探した場所を目的地に設定する	97
スマートフォンから探す	98
探索条件設定画面について	99

ルートの確認・変更	100
ルートの確認	100
次に曲がる交差点を確認する	100
全ルートを確認する	100
ルートの変更	101
ルートを消去する	101

登録地の設定	102
登録地を設定する	102
自宅を登録する	102
現在地を登録する	102
登録地を変更する	103
登録地情報を変更する	103
登録地情報画面について	103

VICS機能	104
VICSについて	104
VICSのメディアと特徴	104
表示内容について	105
VICSセンターへのお問い合わせ	107
オンラインの情報を受信する	108

DSRC 機能	109
DSRC サービスとは.....	109
DSRC の概要.....	109
DSRC サービスについて.....	109

INFO

各種情報を確認する	110
エコ情報を確認する.....	110
表示内容について.....	110
お知らせ表示について.....	111
ETC 情報を確認する.....	112
ETC とは.....	112
ETC の履歴を確認する.....	112
電話を使う.....	113
携帯電話を接続する.....	113
電話をかける.....	114
電話がかかってくると.....	114
カメラを使う.....	115
表示内容について.....	115
表示するには.....	116
FM 文字情報を見る.....	117
表示するには.....	117
メンテナンス情報を確認する.....	118
メンテナンス情報を表示する.....	118
バージョンを確認する.....	120
表示するには.....	120

本機の設定	121
その他の設定.....	121
NAVI の設定.....	121
AV の設定.....	121
INFO の設定.....	122
システムの設定.....	122
TV の設定.....	123

Other

困ったときは.....	124
こんなメッセージがでたら.....	124

用語解説.....	129
ナビ関連用語.....	129
オーディオ関連用語.....	131
Sound Settings 関連用語.....	132
DVD ビデオ関連用語.....	134
テレビ関連用語.....	135
その他の機器への接続について.....	136
ソフトウェアについて.....	137
オープンソースソフトウェア.....	137
Gracenote サービス.....	137
仕様.....	139
保証とアフターサービス.....	141
用語索引.....	142

Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は次の2部構成になっています。

記載内容について

本書は、別売を含むすべての機器を接続した場合を想定して記載しています。
購入された機種によっては、無い機能や表示されないメニューがあります。

■ 取扱説明書（基本操作版）



本製品の基本的な機能を記載しています。
本製品に同梱されています。

■ 取扱説明書



本製品の機能を十分ご理解いただけるよう
にすべての機能を詳しく説明しています。
本製品には同梱されていませんので、当社
ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。

本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P122)の[本機の初期化]をすることをおすすめします。

また、OpenInfo サービスをご利用になっている場合は、退会手続きを行ってください。

- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。

- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- ・地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- ・地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- ・地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
 - ≫ 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。

■ テレビ機能

- 本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本製品はデータ放送には対応しておりません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
 - ≫ 映像や音声途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。

■ iPod/iPhone 再生機能 (オプション)

- ・本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- ・iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OpenInfo について

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。

また、高速道路などの開道路路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。OpenInfo では、以下の機能をご利用いただけます。

- ・スマートループ渋滞情報® (→P104)
- ・開道路路情報更新
- ・充電スタンド情報更新

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。別紙「OpenInfo サービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

お手入れのしかた

- ・本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

商標について

- ・「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- ・NaviCon® は、株式会社デンソーの登録商標です。
- ・製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

DIATONE® 「DIATONE」および「ダイヤトーン」、「DIATONE」ロゴは、三菱電機の登録商標です。



「ミュージックフォルダ」は、三菱電機の登録商標です。

PremiDIA

「PremiDIA」は、三菱電機の登録商標です。

openinfo

「OpenInfo」および「openinfo」ロゴは、三菱電機の登録商標です。

mille sense
Lane Assist

「MilleSense」および「ミルセンス」は、三菱電機の登録商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



SDHCはSD-3C,LLCの商標です。



VICSロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する商標であり「三菱電機株式会社」はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。



ETCロゴは、財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。



DSRCロゴは、一般社団法人ITSサービス推進機構 (ISPA) の登録商標です。



マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。



本製品は、パイオニア (株) が運営・管理するスマートループ渋滞情報® を使用しています。スマートループ渋滞情報® はパイオニア (株) の登録商標です。

Made for



iPod



iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPodおよびiPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod



iPod
5th generation
(video)
60GB 80GB



iPod
5th generation
(video)
30GB

iPod classic



iPod classic
160GB (2009)



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
80GB

iPod nano



iPod nano
7th generation
16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
2nd generation
(aluminum)
2GB 4GB 8GB



iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

iPod touch



iPod touch
5th generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPhone



iPhone 5
16GB 32GB 64GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 4
16GB 32GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB

※ 「iPod nano 1st generation」、 「iPod nano 2nd generation (aluminum)」、 「iPod nano 6th generation」、 「iPod 5th generation (video) 30GB」、 「iPod 5th generation (video) 60GB 80GB」は、ビデオ再生に対応しておりません。(音楽再生は可能。)

※ Genius機能には対応しておりません。

※ iPadには対応しておりません。

※ iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告



禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。** 前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。** 運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。** カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。** 事故、火災、感電の原因となります。
- **本機はDC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。** 火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。** 発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。** 火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。事故の原因となることがあります。



必ず行う

- モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

注意



指に注意

- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠ 注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。

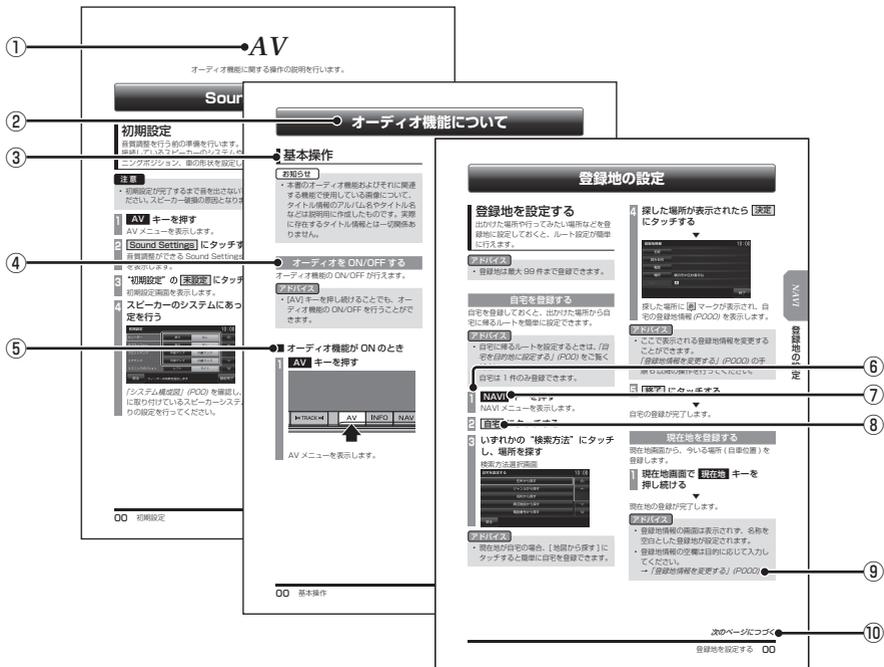


必ず行う

- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。実際のページ、説明内容は異なります。

① 編見出し

主な機能に分けて分類しています。

② 章見出し

編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。また、右端のインデックスでも確認できます。

③ 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ **○○○** キーまたは [○○○] キー
パネルでの操作キーを示します。

⑧ **○○○** または [○○○]
画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑨ **(P000)**
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

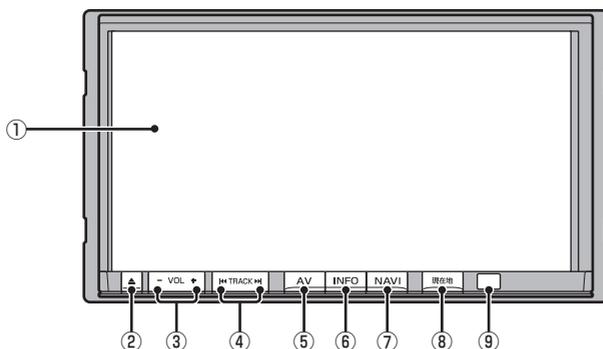
⑩ **次のページにつづく**
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき



① ディスプレイ

このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。

→「タッチ操作のしかた」(P21)

② ▲ キー

モニターパネルの開閉画面を表示します。パネルを開閉するときや、ディスクを出し入れ(P46)をするときに使います。

③ -VOL キー / VOL+ キー

オーディオ機能の音量を調節できます。

④ ◀TRACK キー / TRACK▶ キー

CDなどのトラックやラジオの選局が行えます。また、DVDのチャプターの切り換えが行えます。

動作は、オーディオソースによって異なります。詳しくは「オーディオソース別の動作について」(P17)をご覧ください。

⑤ AV キー

AVメニューを表示します。オーディオソースを選ぶときに使用します。→「AVメニュー」(P22)

⑥ INFO キー

INFOメニューを表示します。情報確認や各種設定を行うときに使用します。→「INFOメニュー」(P24)

⑦ NAVI キー

NAVIメニューを表示します。ナビゲーションの各機能をご利用になれます。→「NAVIメニュー」(P23)

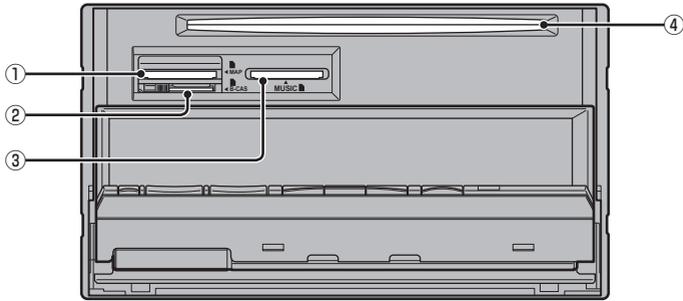
⑧ 現在地 キー

ナビゲーション画面の現在地画面(P82)を表示します。

⑨ リモコン受光部

別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

■ パネルが開いているとき



① MAPスロット

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップを行うことができます。

② miniB-CASカード挿入口

miniB-CASカードを挿入します。
→「miniB-CASカードを入れる」(P75)
※ 付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。

お知らせ

- miniB-CASカード挿入口にあるロックを行っていなかった場合、パネルを閉じることができません。

③ MUSICスロット

音楽用SDカードを挿入します。音楽用SDカードの再生 (P60) やMusicFolderへの録音 (P62) が行えます。

④ ディスク挿入口

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。
→「ディスクを挿入する」(P46)

■ オーディオソース別の動作について

◀◀TRACK キーや TRACK▶▶ キーを押したときの動作はオーディオソースによって異なります。オーディオソースごとの動作は以下の通りです。

SD/MusicFolder	押すと前後の曲を選ぶことができます。押し続けると、早送り/早戻しの操作が行えます。
DISC	
USB/iPod	
Bluetooth Audio	押すと前後のチャプターを選ぶことができます。押し続けると、早送り/早戻し再生の操作が行えます。
DVD-Video	
DVD-VR	押すと前後のプリセットCH番号を選ぶことができます。押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
TV	
ラジオ	押すと前後のプリセットCH番号を選ぶことができます。押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
AUX	操作できません。
Blu-ray/HDMI	

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面（ラスト画面）に切り換わります。

お知らせ

- 車両点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロック時は、パスワード入力画面を表示します。パスワードを入力するまで本機をご使用になれませんので「*起動時セキュリティの設定*」(P122) で設定したパスワードを入力してください。

アドバイス

- イグニッションキーを“ACC”または“ON”した直後は、ナビゲーション機能の場合、地図カードからのデータ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

SDカードについて

本機はナビゲーション機能で使用する地図カードおよびオーディオ機能で使用する音楽用SDカードに対応しております。

警告



必ず行う

- **事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。**

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- 地図カードは本機のMAPスロット以外に挿入しないでください。故障の原因となります。もしくはデータが破壊、使用できなくなる場合があります。
- SDカードの抜き差しは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。記録されたデータの消失または破損の恐れがあります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- SDカードの挿入口は、MAPスロットおよびMUSICスロットの2種類がありますので、SDカードを挿入する際は間違わないようご注意ください。

お知らせ

- SDカードのデータ消失による損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットしたSDカードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になるSDカードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
- 本機でのフォーマットは、「システムの設定」(P122)で[メモリ初期化]→[音楽用SDカードの初期化]を選ぶことで行えます。
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SDカードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SDカードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SDカードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにSDカードが挿入された状態で他のSDカードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SDカード以外のものを挿入しないでください。SDカード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

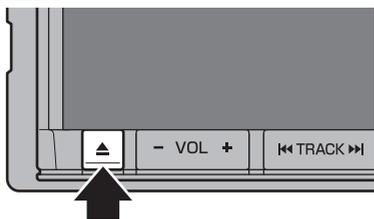
本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

SDカードを挿入する

■ 地図カードの場合

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。はじめてご使用になるときは、本体に地図カードを挿入する必要があります。

1 ▲ キーを押す



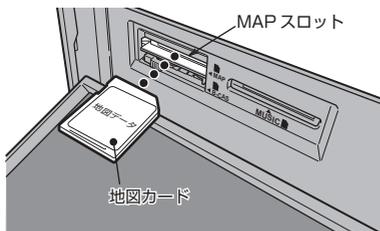
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MAPスロットに地図カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MUSIC スロット側に差し込まないでください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼
ナビゲーション機能の使用が可能となります。

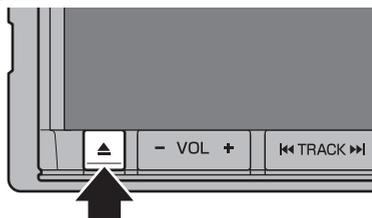
■ 音楽用 SD カードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを本機に挿入します。

お知らせ

- 音楽用 SD カードは同梱しておりません。お客さまにてご準備ください。

1 ▲ キーを押す



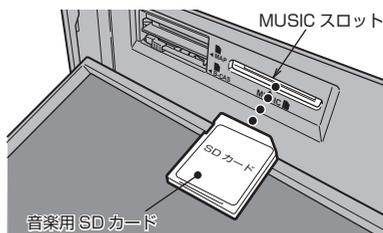
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MUSIC スロットに音楽用 SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MAP スロット側に差し込まないでください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼
SD カードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

SDカードを取り出す

■ 地図カードの場合

地図データのバージョンアップを行う際に取り出します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでバージョンアップが行えます。

■ 音楽用SDカードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用SDカードを本機から取り出します。

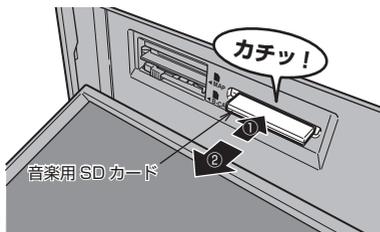
1 ▲ キーを押す

2 ■ モニター OPEN にタッチする



パネルが開きます。

3 MUSIC スロットの 音楽用SDカードを「カチッ」と 音がするまで押す



音楽用SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

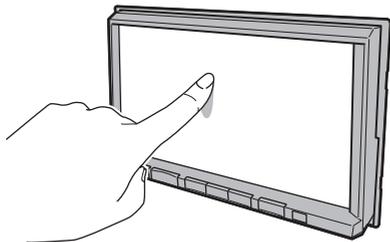
4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして「決定」する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探るとき

▼、▲ にタッチすると1つずつリストを選ぶことができます。

▽、△ にタッチすると1ページごとに表示を送ることができます。



探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

タブスイッチがあるとき

分類がタブスイッチで分かれている場合があります。

分類のタブスイッチに直接タッチすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、◀◀、▶▶ が表示されます。

◀◀、▶▶ にタッチすることで分類のタブスイッチを1ページずつ送ることができます。

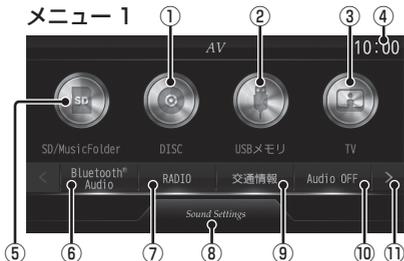


各メニュー画面について

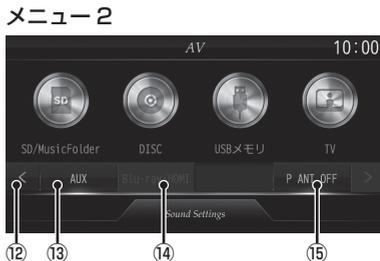
各キーを押すことで、さまざまな機能を使うことができます。

AVメニュー

[AV] キーを押して表示するAVメニューについて説明します。



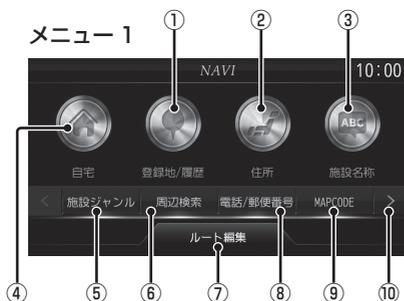
- ① **DISC** (P51)
本機に挿入された各メディアの再生を行います。
- ② **USB** (P68)
iPodが本機に接続されていれば、**iPod**※¹に変わり、タッチするとiPod画面を表示します。
USBデバイスが本機に接続されていれば、**USBメモリ**※¹に変わり、タッチするとUSB画面を表示します。
- ③ **TV** (P74)
地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- ④ **時計**
24時間制で現在時刻を表示します。
- ⑤ **SD/MusicFolder** (P60)
MUSICスロットに挿入された、音楽用SDカード内の音楽ファイルを再生できます。また、MUSICスロットに挿入された、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生できます。
- ⑥ **Bluetooth® Audio** ※¹ (P79)
Bluetooth対応オーディオ機器が本機に接続されていれば、Bluetooth Audio機能をご利用になれます。
- ⑦ **RADIO** (P49)
ラジオ機能をご利用になれます。
- ⑧ **Sound Settings** (P25)
オーディオの音質に関する設定が行えます。



- ⑨ **交通情報** (P50)
交通情報機能をご利用になれます。
 - ⑩ **Audio OFF** / **Audio ON** (P45)
オーディオ機能のON/OFFが行えます。
 - ⑪ **>**
メニュー 2を表示します。
 - ⑫ **<**
メニュー 1を表示します。
 - ⑬ **AUX** ※¹、※²
外部入力機器が本機に接続されていれば、外部入力機器の映像を表示します。
 - ⑭ **Blu-ray/HDMI** ※¹
三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤーが接続されていれば **Blu-ray** と表示し、HDMI出力機器が接続されていれば **HDMI** と表示します。
 - ⑮ **P ANT OFF** ※³
パワーアンテナ装着車でアンテナを格納したいとき(車庫入れ時など)にタッチするとアンテナを格納します。
P ANT ON ※³
“ACC ON”時にアンテナ電源端子から電源を供給します。
- ※¹ 別売の部品または外部入力機器、ケーブルが必要です。
※² 一部の機種で別売の外部入力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続していない場合でも[AUX]は表示されますが、タッチしても映像は表示されません。
※³ 表示するには、あらかじめ[システムの設定]→[パワーアンテナの設定]→[手動]にしておく必要があります。
→[パワーアンテナの設定](P122)

NAVI メニュー

[NAVI] キーを押して表示するNAVIメニューについて説明します。



メニュー 2



① 登録地/履歴

登録地を呼び出すことができます。
また検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

② 住所

住所から場所を探すことができます。

③ 施設名称

施設の名称を入力し場所を探すことができます。

④ 自宅

自宅を登録できます。(P102) また、登録した自宅を目的地に設定できます。(P96)

⑤ 施設ジャンル

コンビニやガソリンスタンドなどの施設を分類および都道府県ごとに場所を探すことができます。

⑥ 周辺検索

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探ることができます。

⑦ ルート編集 (P101)

設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。

⑧ 電話/郵便番号

電話番号や郵便番号を入力して施設を探ることができます。

⑨ MAPCODE

探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。

⑩ >

メニュー 2 を表示します。

⑪ <

メニュー 1 を表示します。

⑫ 観光ルート

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定できます。

INFOメニュー

[INFO]キーを押して表示するINFOメニューについて説明します。



- ① **エコ情報** (P110)
運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認できます。
- ② **電話** ※¹ (P113)
携帯電話がBluetoothで本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用になれます。
- ③ **カメラ** ※² (P115)
フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが接続されている場合、カメラの映像を表示します。
- ④ **メンテナンス情報** (P118)
お車の各パーツの交換時期を管理できます。
- ⑤ **FM文字情報** (P117)
FM多重放送による文字情報を確認できます。
- ⑥ **ETC** ※³ (P112)
ETC車載器またはDSRC車載器が接続されている場合にETCを使用した履歴や料金を確認できます。
- ⑦ **設定** (P121)
本機の各種設定が行えます。
- ⑧ **地図データ更新** ※⁴
「開通道路情報」や「充電スタンド情報」の地図データを更新できます。

※1 Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。

※2 別売のフロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。

※3 別売のETC車載器またはDSRC車載器が必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。

※4 更新を行うには、OpenInfoサービスへのユーザー登録が必要です。

AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

Sound Settings

初期設定

音質調整を行う前の準備を行います。
接続しているスピーカーのシステムやリスニングポジション、車の形状を設定します。

注意

- 初期設定が完了するまで音を出さないでください。スピーカー破損の原因となります。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 Sound Settings にタッチする

音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 “初期設定” の 未設定 にタッチする

初期設定画面を表示します。

4 スピーカーのシステムにあった設定を行う



「システム構成図」(P27)を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステム通りの設定を行ってください。

5 “リスニングポジション”を設定する



最適な音を聴きたいシートを選択してください。(フロントシートの右または左)

6 “車種選択”の [] にタッチする

7 車の形状を選択する



本機を接続している車に最も近い形状にタッチします。

8 [戻る] にタッチする

9 [設定完了] にタッチする

初期設定が完了します。
以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
ツイーター	あり	ツイーターの有無を設定します。 ツイーターを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
サブウーファー ^{*1}	あり	サブウーファーの有無を設定します。 サブウーファーを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
フロントアンプ	外部アンプ ^{*1}	フロントスピーカーのアンプ構成を設定します。 本機とフロントスピーカーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
リアアンプ	外部アンプ ^{*1}	リアスピーカーのアンプ構成を設定します。 本機とリアスピーカーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
リスニングポジション	レフト	最適な音を聴きたいシートを選択してください。 (フロントシートの右または左)
	ライト	
車種選択	軽自動車・コンパクト	「タイムアライメント設定」(P39)の目安となる車の形状を設定します。 本機を装着している車の形状を選択してください。
	セダン	
	ワゴン	
	ミニバン	
	SUV	
	1BOX	
	詳細車種選択	本機ではご使用になれません。
選択しない	車種形状の情報を使用しません。 Sound Settings画面では[- - -]と表示します。	

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1 外部アンプを接続するには、一部の機種で別売の外部入出力ケーブルが必要です。

お知らせ

- リアスピーカーを取り付けていない場合は、「リアアンプ」を[外部アンプ]にしてください。

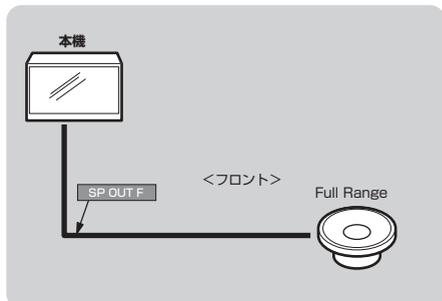
システム構成図

装着しているスピーカーのシステムを以下の表から探し、対象の構成図を確認してください。
「初期設定」(P25) で必要な設定値を確認できます。

システム	フロントスピーカー構成		サブウーファー 有無	外部アンプ有無		構成図 (ページ)	クロスオーバー 設定 (ページ)
	フルレンジ	2Way		フロント	リア		
フロントのみ	●	-	-	-	-	A-1 (P28)	(P40)
				●	-	A-2 (P28)	(P40)
			●	-	B-1 (P28)	(P40)	
	-	●	-	-	-	E-1 (P31)	(P41)
				●	-	E-2 (P31)	(P41)
			●	-	F-1 (P31)	(P41)	
フロント+リア	●	-	-	-	-	C-1 (P29)	(P40)
				●	-	C-2 (P29)	(P40)
			●	●	C-3 (P29)	(P40)	
			●	-	D-1 (P30)	(P40)	
			●	-	D-2 (P30)	(P40)	
	-	●	-	-	-	G-1 (P32)	(P41)
				●	-	G-2 (P32)	(P41)
			●	-	-	G-3 (P32)	(P41)
				●	-	H-1 (P33)	(P41)
				●	-	H-2 (P33)	(P41)
			●	-	H-3 (P33)	(P41)	

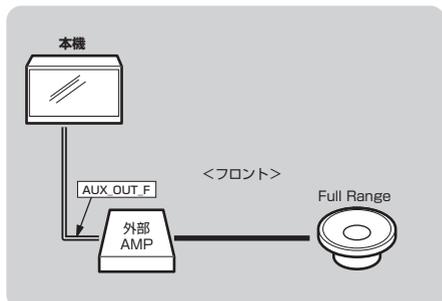
フロントフルレンジ

構成 A-1



ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

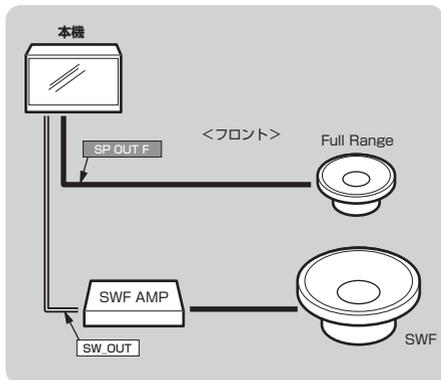
構成 A-2



ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

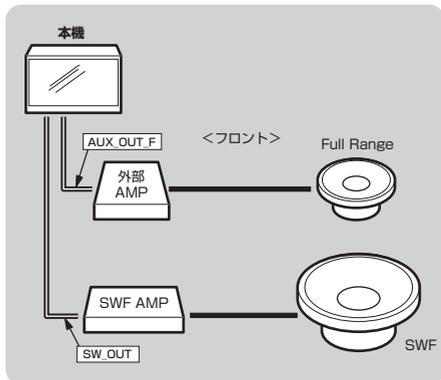
フロントフルレンジ+サブウーファー

構成 B-1



ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

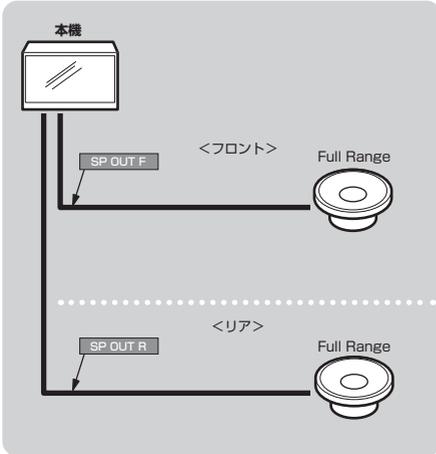
構成 B-2



ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

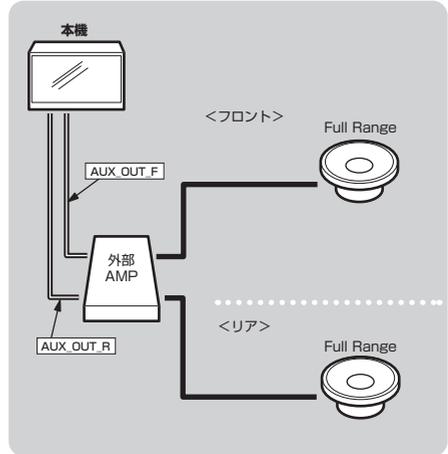
フロントフルレンジ+リア

構成 C-1



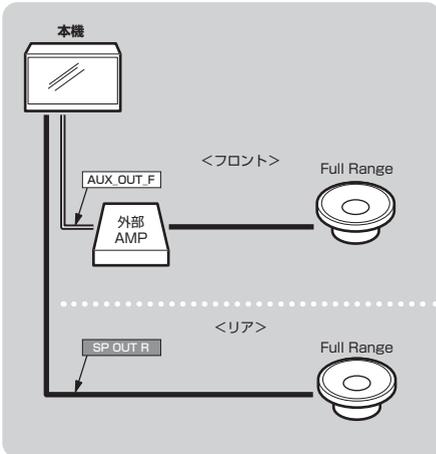
ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

構成 C-3



ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

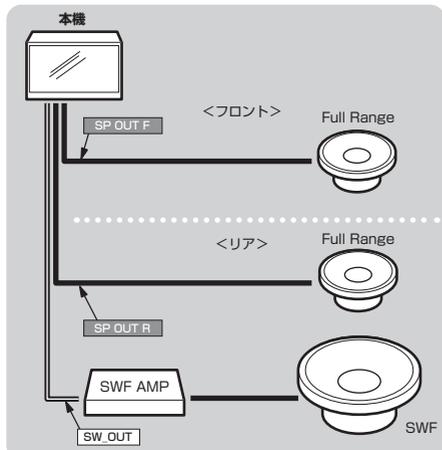
構成 C-2



ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

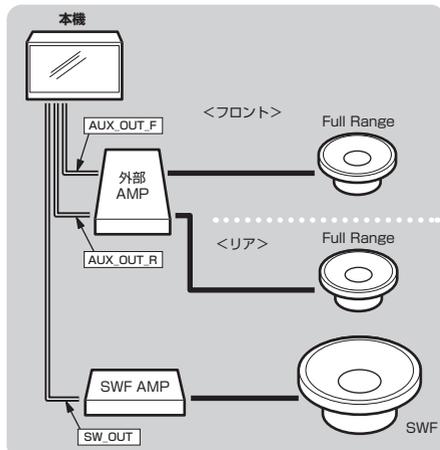
フロントフルレンジ+リア+サブウーファー

構成D-1



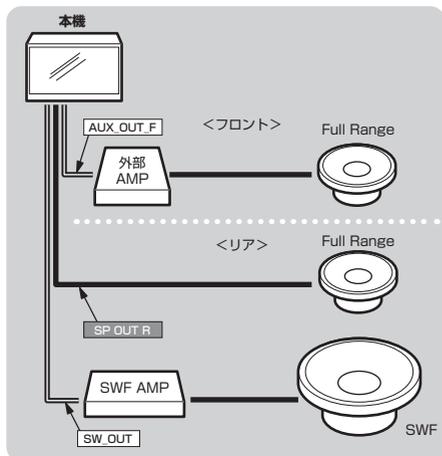
ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

構成D-3



ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

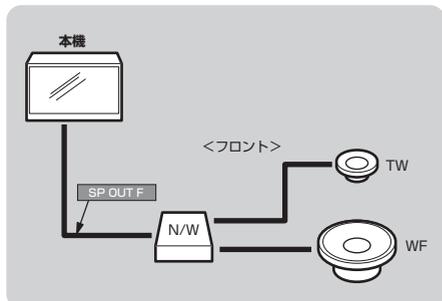
構成D-2



ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

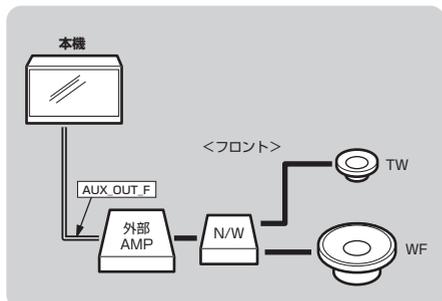
フロント2Way

構成 E-1



ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

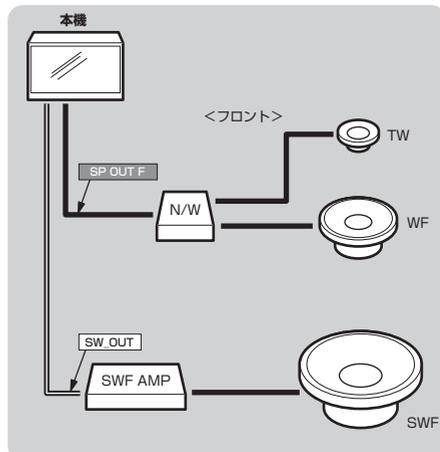
構成 E-2



ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

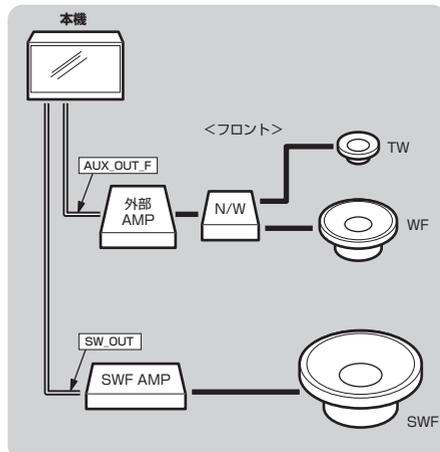
フロント2Way + サブウーファー

構成 F-1



ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

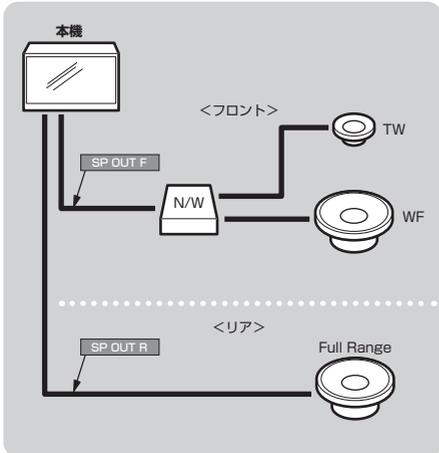
構成 F-2



ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

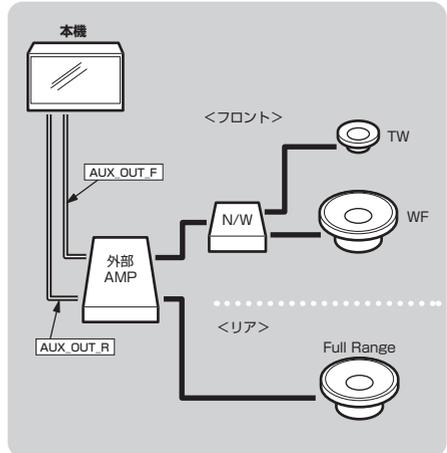
フロント2Way +リア

構成 G-1



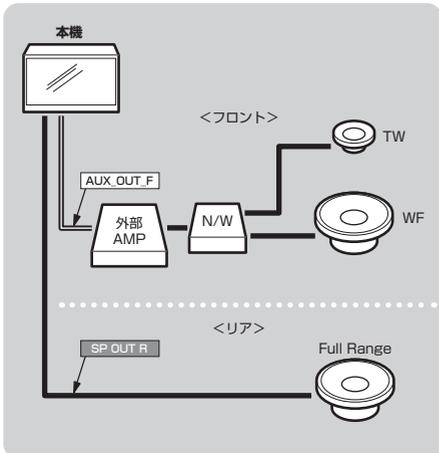
ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

構成 G-3



ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

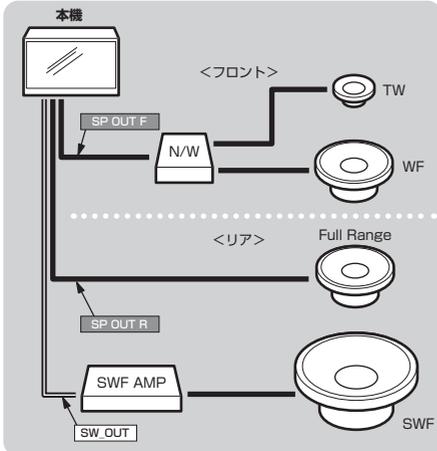
構成 G-2



ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

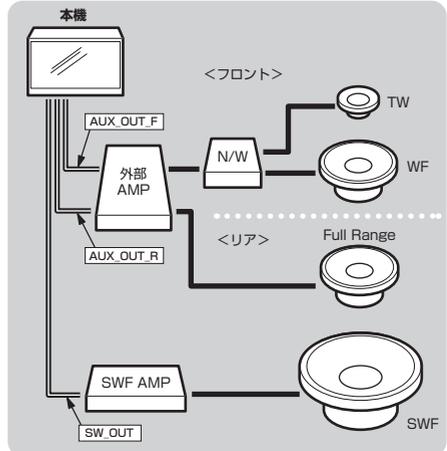
フロント2Way +リア+サブウーファー

構成 H-1



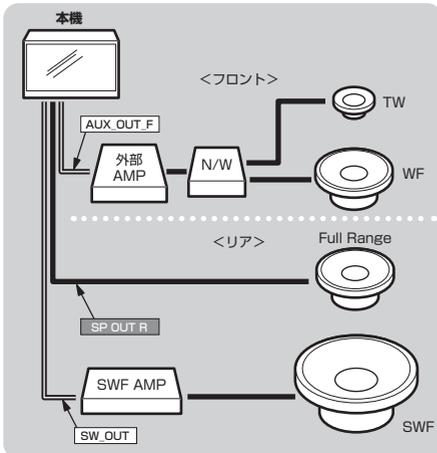
ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

構成 H-3



ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

構成 H-2



ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

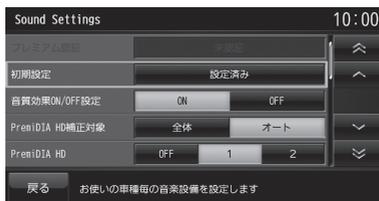
音質の設定を変更する

[AV] キー→[Sound Settings] にタッチすると表示する Sound Settings 画面で以下の設定が変更できます。

お知らせ

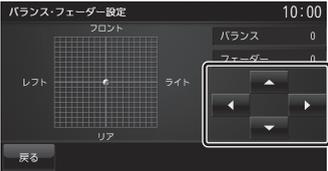
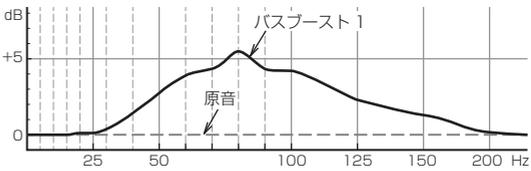
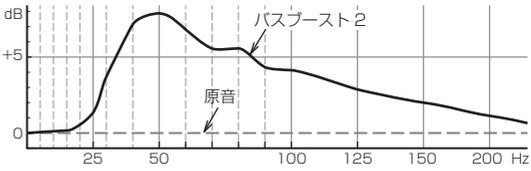
- Audio ON で「音質効果 ON/OFF 設定」が [ON] の状態で設定してください。
- [INFO] キー→[設定]→[Sound Settings] にタッチしても同様に音質設定が行えます。
- オーディオ再生時、Sound Settings 画面に入るときと抜けるときに音質設定の変更を準備するため、一時的に音声が消音 (ミュート) 状態になります。
Sound Settings 画面に入った音質調整時は、40bit 演算精度ですが、抜けた時には 64bit 演算コアにより音質が向上します。

設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
プレミアム認証	未認証	選択できません。
初期設定	未設定	オーディオの音質調整に必要な初期設定を行うことができます。 (→P25)
	設定済み	[未設定]になっている場合は必ず行ってください。
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF]にすると初期設定を除く音質調整内容を一時的に無効にします。(調整した内容が消えることはありません。)
	OFF	このとき、初期設定以外の音質設定項目は選択できないようになります。
PremiDIA HD 補正対象	全体	すべてのオーディオソースを対象に PremiDIA HD の補正を行います。
	オート	補正対象： MusicFolder、音楽ファイル、iPod、TV、AUX、Bluetooth Audio を対象に PremiDIA HD の補正を行います。 補正対象外： 音楽 CD、ラジオ (FM/AM)、交通情報、DVD-Video、DVD-VR、Blu-ray [®] プレーヤー、HDMI 出力機器は本設定の対象外となります。
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容	
PremiDIA WIDE	OFF	ステレオスピーカーの位置よりも外へと広がるワイドな音像を実現するための補正量を調節できます。	
	1		
	2		
バランス・フェーダー	バランス： L9～L1.0,R1～R9 (Left, Right)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルスイッチで調節できます。	
	フェーダー： F9～F1.0,R1～R9 (Front, Rear)		
ポジション	オール	最適な音を聴くシートを変更します。	
	フロント		
	ライト		
	レフト		
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。	
	1		
	2		
車速連動 VOL 調整	OFF	車の速度に応じて音量を自動的に調節できます。数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。	
	1		
	2		
バスブースト	OFF	バスブーストを使用しません。	
	1		低音域を図のように強調補正します。 
	2		低音域を図のように強調補正します。 

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
トーンコントロール	バス：-6～6dB	低音域（100Hz以下）や高音域（10kHz以上）の音量を1dBごとに強調/減衰させることができます。 (工場出荷時：[0dB])
	トレブル：-6～6dB	
		
外部アンプON/OFF時間 ^{*1}	ON：1.0～3.0秒	ACCをONにしたときやOFFにしたとき、外部アンプの電源がON/OFFになるまでの時間を0.1秒ごとに設定できます。 (工場出荷時：[1.5秒]) 本機と外部アンプを接続するとACCをON/OFFしたときに異音が出ることがあります。異音が出る場合は、時間を調整してください。
	OFF：0.3～2.0秒	
		
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。 また、10バンドの周波数に対しての調整が行えます。(→P43)
	ロック	
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム	調整したイコライザーを呼び出します。
-----	イコライザー調整を行った後、[カスタム]に登録していない場合に表示します。	
サウンドチューニング ^{*2}	サウンドを調整する	「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。(→P37)
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。
PremiDIA VBL	OFF	自動で低音をカットする補正値を設定できます。(→P44)
	ON：-10～+10	[ON]にすると大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。また、小音量時でも低音感を増強させることができます。
DIATONE Volume	OFF	[1]または[2]に設定すると、オーディオソース間や楽曲内の音量の差を自動的に軽減できます。数字が大きいくほど軽減する補正値が大きくなります。
	1	
	2	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 「初期設定」(P25)で「フロントアンプ」および「リアアンプ」を[内蔵アンプ]に設定していた場合は選択できません。

※2 「ポジション」と「初期設定」(P25)の「リスニングポジション」が同じシートでなければ選択できません。

サウンドチューニング

「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。

お知らせ

- ・「初期設定」(P25)の「リスニングポジション」と「ポジション」が同じシートでなければ本機能は使用できません。

1 Sound Settingsの画面で「サウンドチューニング」の「サウンドを調整する」にタッチする



タイムアライメント設定画面 (→P39)

2 ▲ → クロスオーバー にタッチする

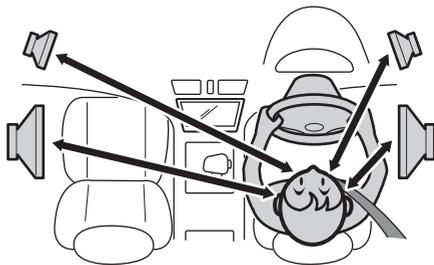


クロスオーバー設定画面 (→P40)

3 ▲ → タイムアライメント にタッチする

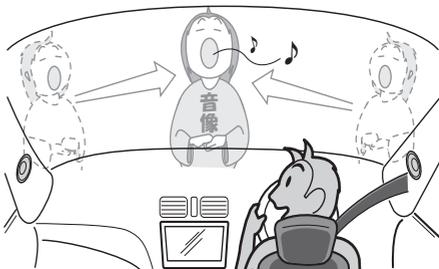
タイムアライメント設定画面に戻ります。

タイムアライメントについて



車の中では、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離がそれぞれ違うため、楽曲が本来持つ音像や音場が再現できていません。

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を本機に入力することで、リスニングポジションまでの音の到達時間を補正できます。



その結果、音が同時にリスニングポジションへ到達するようになり、音像や音場がより再現できるようになります。

→「タイムアライメント設定」(P39)

マルチウェイ・タイムアライメント

タイムアライメントを行うには、スピーカーユニットごとにパワーアンプを装備したマルチチャンネルシステムにする必要がありました。当社が開発した独自の引き算型FIRデジタルネットワークアルゴリズムを搭載することにより、パッシブネットワークを使用したマルチウェイスピーカーシステムでも特性を乱さずに各スピーカーを独立かつ任意に時間補正することを実現しました。

2chのパワーアンプ1台でシステム構築ができることにより、高域から低域までの全ての音域を同一のパワーアンプがカバーするので、音色の統一感が図れます。

クロスオーバーについて

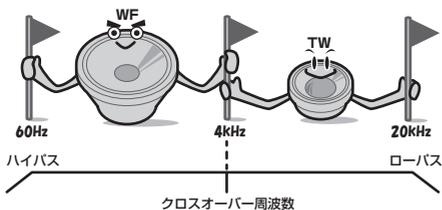


ツイーターやウーファーなどスピーカーにはそれぞれ再生可能な周波数帯域というものがあります。



しかし、再生可能な帯域であっても周波数が高すぎたり低すぎたりすると音の歪みや濁りが発生します。

クロスオーバー設定では、各スピーカーの特性(得意とする部分)を活かした再生周波数帯域に調整できます。



その結果、各スピーカーが余裕を持って動作するようになり、音の歪みや濁りを無くし、より音質を高めることができます。

→「クロスオーバー設定」(P40)

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。



■ タイムアライメント設定

スピーカーユニットの中心から顔の中心までの直線距離をメジャーで直接測り、その距離を目安として入力してください。

お知らせ

- ・「初期設定」(P25)の「車種選択」で選んだ形状の値があらかじめ目安として入力されています。「車種選択」が[— — —]の場合はすべての距離が「0.00cm」となります。



※ 画面例はフロント2Way + リア + サブウーファー装着状態です。

※ 装着設定 (P25) されていないスピーカーはマスク表示となり、選択できません。

- ① フロントツィーター
- ② フロントウーファー
- ③ リアスピーカー
- ④ サブウーファー
- ⑤ **▼ 距離設定 ▲**

タッチすると、選択中のスピーカーの距離を変更できます。(0.77cm/1step)

- ⑥ **0.00cm**
リスニングポジションまでの距離を示します。タッチすると、スピーカーが選択状態になり距離を変更できます。
サブウーファー以外：0.00 ~ 192.5cm
サブウーファーのみ：0.00 ~ 338.8cm

- ⑦ **カスタム**

タッチすると、前回登録したタイムアライメント設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- ・調整後、[カスタム]に登録することをお勧めいたします。

- ⑧ **スピーカーイラスト**

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

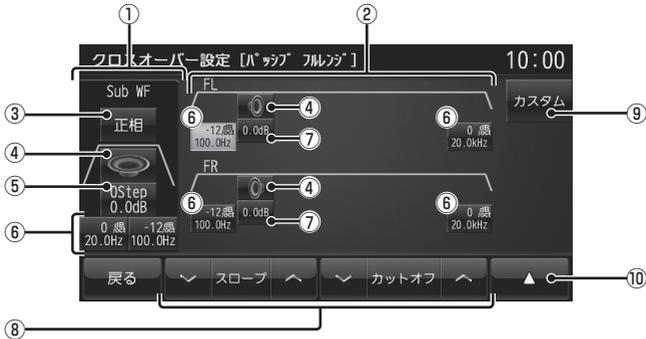
- ⑨ **▲**

タッチすると、サブメニューを表示し「クロスオーバー」(P40)を選択できます。

■ クロスオーバー設定

アジャスタブル FIR クロスオーバーネットワークの設定を行います。
システム構成によって画面が異なります。

フロント (パッシブ フルレンジ)



※ [システム構成図] (P27) の A-1, A-2, B-1, B-2, C-1, C-2, C-3, D-1, D-2, D-3 のときに表示される画面です。

① サブウーファースの情報

② フルレンジの情報

③ 正相, 逆相

タッチするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

④ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

⑤ Step dB

選択すると、サブウーファースのローバースト (P133) とゲイン (0.5dB/1step) をファンクションスイッチで調整できます。(上:ローバースト, 下:ゲイン)

⑥ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションスイッチでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑦ dB

選択すると、そのスピーカースのゲインをファンクションスイッチで調整できます。(0.2dB/1step)

⑧ ファンクションスイッチ

選択状態によって以下の調整が行えるように切り換わります。

ゲイン : ゲインの調整

ローバースト : ローバーストの調整

スロープ : スロープの調整

カットオフ : カットオフ周波数の調整

⑨ カスタム

タッチすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- 調整後、[カスタム] に登録することをお勧めいたします。

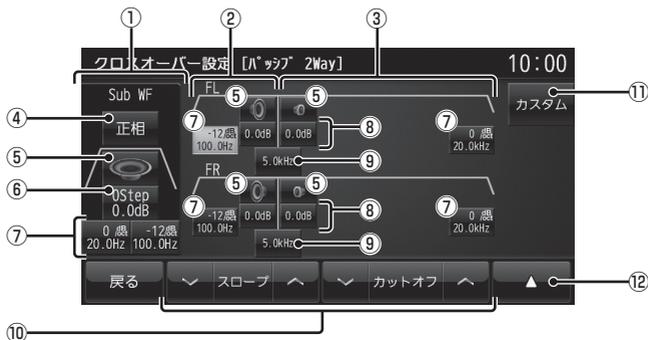
⑩ ▲

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「クロスオーバー設定のサブメニュー」(P43)

注意

- 各スピーカースの仕様 (再生周波数帯域) を超えた設定を行うと、スピーカース破損の原因となります。必ず各スピーカースの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

フロント (パッシブ 2Way)



※ [システム構成図] (P27) の E-1, E-2, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, H-1, H-2, H-3 のときに表示される画面です。

① サブウーファースの情報

② ウーファースの情報

③ ツィーターの情報

④ 正相, 逆相

タッチするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑤ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

⑥ Step dB

選択すると、サブウーファースのローパスとゲイン (0.5dB/1step) をファンクションスイッチで調整できます。(上:ローパス, 下:ゲイン)

⑦ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションスイッチでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑧ dB

選択すると、そのスピーカースのゲインをファンクションスイッチで調整できます。(0.2dB/1 step)

⑨ Hz

選択すると、各スピーカース間のクロスオーバー周波数をファンクションスイッチで調整できます。

⑩ ファンクションスイッチ

選択状態によって以下の調整が行えるように切り換わります。

ゲイン : ゲインの調整

ローパス : ローパスの調整

スロープ : スロープの調整

カットオフ : カットオフ周波数の調整

クロス : クロスオーバー周波数の調整

⑪ カスタム

タッチすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- 調整後、[カスタム]に登録することをお勧めいたします。

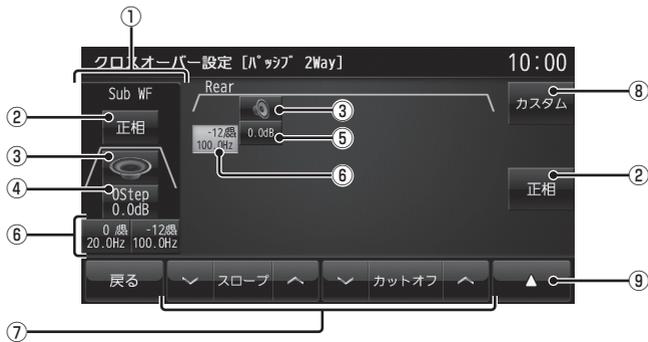
⑫ ▲

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「クロスオーバー設定のサブメニュー」(P43)

注意

- 各スピーカースの仕様 (再生周波数帯域) を超えた設定を行うと、スピーカース破損の原因となります。必ず各スピーカースの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

リア



※ 画面例はフロント2Way + リア + サブウーファー装着状態です。

① サブウーファーの情報

② 正相 , 逆相

タッチするたびに、正相と逆相を切り換えることができます。

③ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

④ Step 0.0dB

選択すると、サブウーファーのローバースト (P133) とゲイン (0.5dB/1step) をファンクションスイッチで調整できます。(上:ローバースト,下:ゲイン)

⑤ 0.0dB

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションスイッチで調整できます。(0.2dB/1step)

⑥ 0dB/oct 0.0Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションスイッチでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。

(上:スロープ,下:カットオフ周波数)

⑦ ファンクションスイッチ

選択状態によって以下の調整が行えるように切り換わります。

▼ゲイン▲ : ゲインの調整

▼ローバースト▲ : ローバーストの調整

▼スロープ▲ : スロープの調整

▼カットオフ▲ : カットオフ周波数の調整

⑧ カスタム

タッチすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- 調整後、[カスタム]に登録することをお勧めいたします。

⑨ ▲

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「クロスオーバー設定のサブメニュー」(P43)

■ クロスオーバー設定のサブメニュー

クロスオーバー設定画面で **[▲]** にタッチして表示するサブメニューについて説明します。

フロント



リア切換	リアスピーカー側の設定画面を表示します。
タイムアライメント	タイムアライメント設定画面 (P39) を表示します。
FLからFRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
FRからFLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
戻る	サブメニューを閉じます。

リア

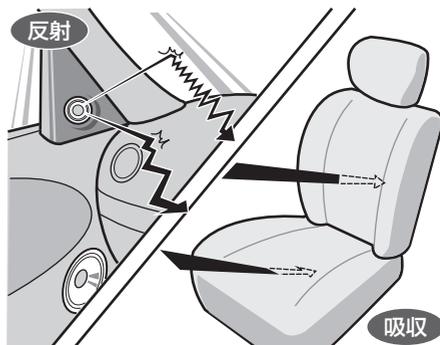


フロント切換	フロントスピーカー側の設定画面を表示します。
タイムアライメント	タイムアライメント設定画面 (P39) を表示します。
戻る	サブメニューを閉じます。

イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整し、補正できるアジャスタブルFIRグラフィックイコライザーの調整を行います。

イコライザー調整について



ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。

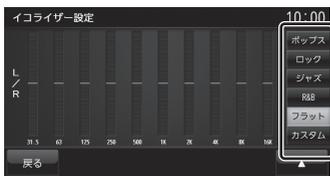


そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティーをさらに引き出すことができます。

■ ジャンルを選ぶ

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタッチする

2 好みの“ジャンル”にタッチする



イコライザーの選択が完了します。

■ イコライザーを調整する

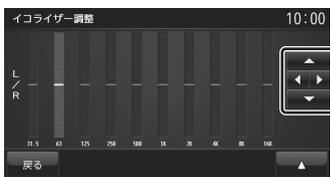
本調整はフロントスピーカーとリヤスピーカーを同時に調整します。

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタッチする

2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタッチする

3 ▲ → **調整** にタッチする

4 カーソルで各周波数のレベルを調整する



5 ▲ → **カスタムに登録** にタッチする

[カスタム]に調整したイコライザー情報を登録します。

アドバイス

- 手順4で画面にタッチすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタムに登録]を行わず[戻る]にタッチすると、Sound Settings画面の「イコライザー」は[— — —]と表示します。(調整した状態が設定されます。)

PremiDIA VBL

自動で低音をカットする補正値を設定できます。この設定を行うと、大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。また、小音量時でも低音感を増強させることができます。

1 Sound Settingsの画面で「PremiDIA VBL」の項目にタッチする
PremiDIA VBL設定画面を表示します。

2 **ON** にタッチする

3 左右カーソルでレベルを調整する



プラス方向に補正するとより低音を抑えることができます。

4 **戻る** にタッチする

PremiDIA VBLの設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA VBL を使用しない場合は、手順2で [OFF] にタッチします。

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

オーディオをON/OFFする

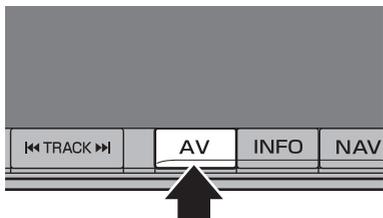
オーディオ機能のON/OFFが行えます。

アドバイス

- [AV]キーを押し続けることでも、オーディオ機能のON/OFFを行うことができます。

オーディオ機能がONのとき

1 [AV] キーを押す



AVメニューを表示します。

2 [Audio OFF] にタッチする



オーディオ機能がOFFになります。

オーディオ機能がOFFのとき

1 [AV] キーを押す

AVメニューを表示します。

2 [Audio ON] にタッチする



オーディオ機能がONになります。
直前に使用していたオーディオソースの画面に戻ります。

ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスク挿入口に手や指、異物を入れてください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上に物（ジュースなど）を置かないでください。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

■ ディスクを挿入する

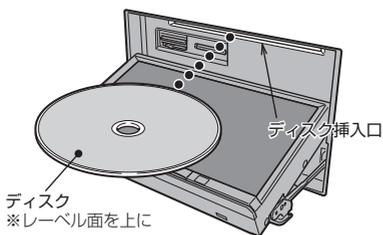
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

4 ▲ キーを押す

▼
パネルが閉まり再生を開始します。

■ ディスクを取り出す

1 ▲ キーを押す

2 DISC Eject にタッチする



▼
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲ キーを押す

▼
パネルが閉まります。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 本機を起動する (P17) 際に

▲ キーを押し続ける

▼
本機からディスクが強制的に排出されます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的クリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	備考
DVDビデオ 	• リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」 • NTSC方式で記録されたもの
DVD+R/RW DVD-R/RW	• CPRM/2層ディスクを含む • DVD VIDEO/DVD-VRフォーマット規格で記録されたディスク • MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク
CD-DA 	—
CD-TEXT 	• 日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、「Ää」などのウムラウト記号付きの文字は対応しておりません。
CD-R/RW 	• MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク

注意

- 8cmディスクは使用できません。
- DTS CD (5.1ch Music Disc) は、録音/再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなどのJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。

音楽ファイル(MP3/WMA/AAC/WAV)について

本機ではCD-ROMやCD-R/RW、DVD-R/RW(DVD+R/RW)、USBデバイス、SDカード*1に記録されたMP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルを再生できます。

*1 MUSICスロットに挿入したSDカード

使用できるファイルやメディアについては制限がありますのでMP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのCD-R/RWドライブやDVD-R/RW(DVD+R/RW)ドライブ、ライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」「.wav」を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

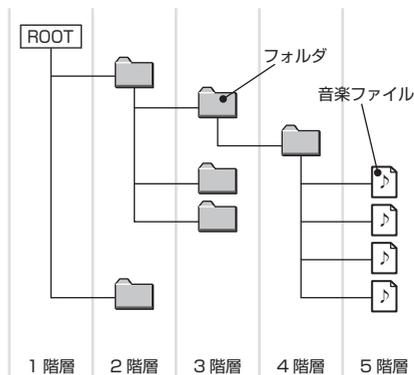
アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」「.wav」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- MP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルが混在したディスクも再生できます。

フォルダの構成について

フォルダは8階層まで認識できます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック(MP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイル)といった階層を作成して曲を管理できます。



お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、プリセットCH番号、受信中の周波数を表示します。

② **FM1**、**FM2**、**AM**

FM放送、AM放送を切り換えるときに使用します。

それぞれ各6局までお好みの放送局を登録できます。

③ プリセットスイッチ

お好みの放送局を登録できます。

希望のプリセットCH番号のスイッチを「ピッ!」と鳴るまでタッチし続けると、現在受信中の放送局を登録できます。

④ **▼ TUNE ▲**

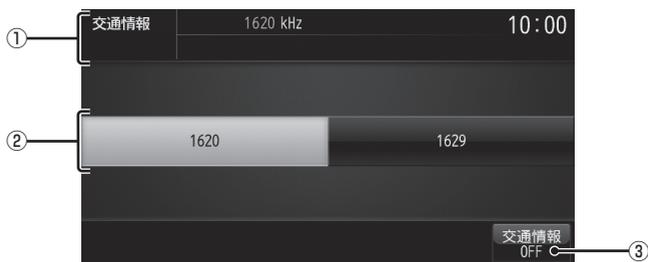
周波数を変更するときに使用します。

⑤ **▲**

タッチすると、サブメニューを表示します。
[スキャン]、[オートセレクト]が選べます。

交通情報を聴く

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、受信中の周波数を表示します。

② 1620 , 1629

交通情報の周波数、1620kHzもしくは1629kHzを選ぶときにタッチします。

③ 交通情報OFF

タッチすると、交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

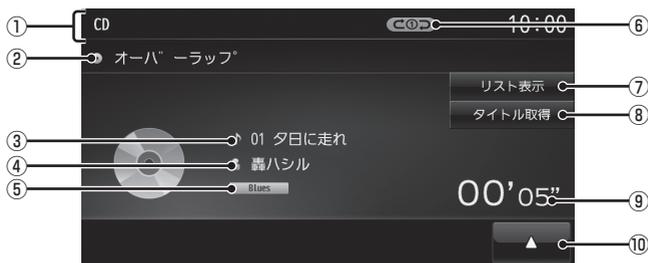
DISC

音楽CDを聴く

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P46)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、[録音する]にタッチすることでMusicFolderへの録音を開始します。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑦ リスト表示

トラックリストを表示します。

⑧ タイトル取得

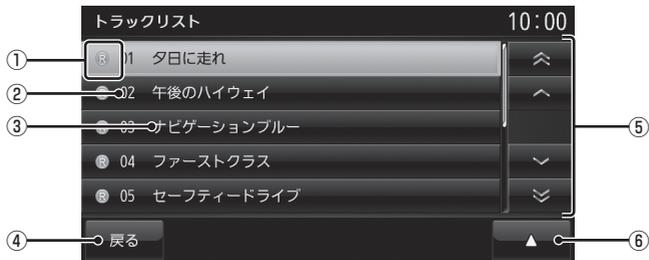
手動でタイトル情報を取得します。

⑨ 再生時間

⑩ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選ばれます。

■ リストについて



① 録音状態アイコン

Ⓡ (青) : 未録音

Ⓡ (赤) : 録音中

※ 録音済は表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

トラック名の情報が空白だった場合は、「NO TITLE」と表示します。

④ 戻る

音楽CDの再生情報画面に戻ります。

⑤ カーソルスイッチ

トラックを選択できます。

⑥ ▲

サブメニューを表示します。

[再生方法]、[録音設定]、[録音開始]などが選べます。

■ サブメニューについて

音楽CDの再生情報画面で **▲** にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

再生方法についての変更や録音の設定、録音の開始/停止が行えます。



再生方法	リピート再生やランダム再生、スキップ再生などの再生モードを変更できます。
録音設定	録音方法の設定が行えます。
録音開始 (録音停止)	録音の開始や停止が行えます。 →「録音を開始/停止する」 (P63)

タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報は、地図カードに記録されているGracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXTの場合はCD内からTEXT情報を取得して表示します。TEXT情報が無い場合は、地図カード内のGracenoteデータベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「NO TITLE」や「NO NAME」などと表示され、NoTitleリストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽CDのタイトル情報は地図カードに記録されたGracenoteデータベースから取得できません。また、それ以前の音楽CDでも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示場合があります。
- CD-TEXTは日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、「Ää」などのウムラウト記号付きの文字は対応しておりません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 通信でタイトル情報の取得を行う場合は携帯電話の表示を待ち受け画面にしてください。

■ 取得できる情報について

- アルバム名
- アルバム名の読み
- アルバムのアーティスト名
- アルバムのアーティスト名の読み
- トラック名
- トラック名の読み
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報はGracenote[®]社によって提供されています。

Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote[®]社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。



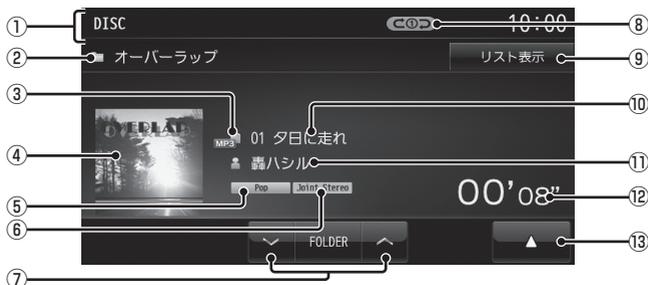
著作権、使用許諾について詳しくは「ソフトウェアについて」(P137) をご覧ください。

ディスクの音楽ファイルを聴く

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P46)

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダ名を表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

⑦ **▼ FOLDER ▲**

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑨ **リスト表示**

フォルダリストを表示します。
→「リストについて」(P55)

⑩ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑫ 再生時間

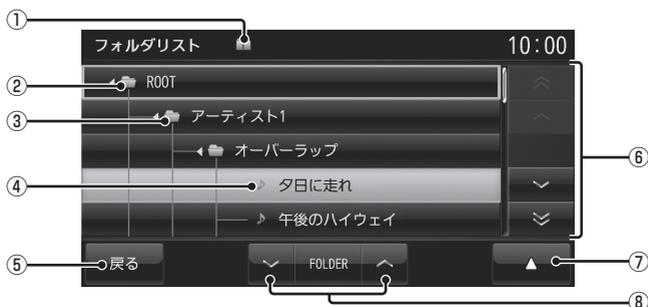
⑬ **▲**

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ カーソルスイッチ

フォルダやファイルを選択できます。

⑦ ▲

サブメニューを表示します。

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

⑧ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

■ サブメニューについて

リスト表示中に **▲** にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

このサブメニューでは、再生モードの変更や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

DVD ビデオを見る

注意

- DVD ビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- DVD ビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVD ビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、 マークを表示します。
- 本機は「dts」(P134)には対応しておりませんので、「dts」を選んでいた場合は音声が出されません。必ず「dts」以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアから DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P46)

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタッチする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書では DVD ビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VR モードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ 切換

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択や画面表示の切り換え、アングルの切り換えが行えます。

④ 数字入力

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力ですべてのメニューを選ぶことができます。

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ TITLE

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わりします。停止中は操作画面が変わります。(P59)

⑪ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] . . .
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめDVDビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)

DVD-VR の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ 切換

音声の番号/種別や字幕 ON/OFF の選択や画面表示の切り換えが行えます。

④ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、タッチするたびに[主音声]→[副音声]→[主+副]→[主音声]・・・のように音声を切り換えることができます。

⑥ ▼TITLE▲

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止

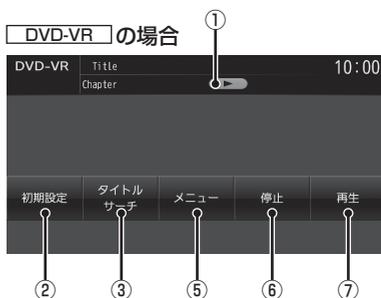
再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。(P59)

⑩ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

▶ (点滅) : 停止中 (続き再生可能)

■ : 停止中 (続き再生不可)

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。

→ [DVD 初期設定] (P121)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。

④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。

⑤ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき (状態アイコン ▶ が点滅状態) は続き再生 (レジューム再生) ができます。

再度 [停止] にタッチすると状態アイコンが ■ になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン ▶ が点滅状態であれば、続き再生ができます。

状態アイコンが ■ であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

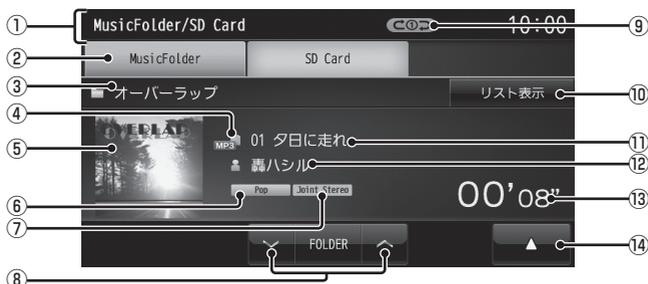
SD/MusicFolder

SDカードの曲を聴く

MUSICスロットに挿入された、音楽用SDカード(音楽ファイルが記録されたSDカード)を本機で再生できます。

表示内容について

再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② MusicFolder

再生情報画面を MusicFolder に切り換え、MusicFolder の再生を開始します。
→「MusicFolder を聴く」(P64)

③ アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV 形式の場合はフォルダ名を表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑦ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

⑧ FOLDER

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑩ リスト表示

フォルダリストを表示します。

⑪ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV 形式の場合はファイル名を表示します。

⑫ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑬ 再生時間

⑭ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV 形式は対応しておりません。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

SDカードの再生情報画面に戻ります。

⑥ FOLDER

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ ▲

サブメニューを表示します。
[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

リスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

このサブメニューでは、再生モードの変更や各階層への移動などが行えます。

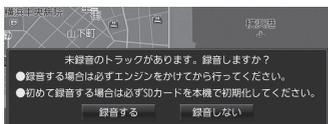


再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

MusicFolder に録音する

MusicFolder への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を等倍～約 4 倍速で MUSIC スロットに挿入された SD カード (音楽用 SD カード) に録音できます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[録音する] にタッチすることで音楽 CD 内の曲をすべて MusicFolder に録音します。

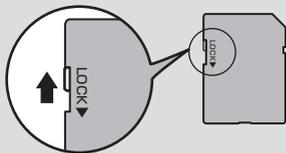


注意

- 録音したものを個人で楽しむなど以外の目的で使用することは、著作権法上禁止されています。
- MusicFolder に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC/WAV などの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。

お知らせ

- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。SD カードによっては、正常に録音できない場合があります。
- 読み書き可能な SD カードを本機の本機 MUSIC スロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)



お知らせ

- SD カードの推奨クラスは、Class 10 以上です。
- 音楽用 SD カードは、あらかじめ「メモリ初期化」(P122) の [音楽用 SD カードの初期化] で SD-Audio フォーマットに初期化しておく必要があります。
- 1 枚の SD カードに最大 CD 99 枚まで録音できます。
- 録音ビットレートは高速録音、高音質録音ともに 128kbps です。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- MusicFolder に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) には複製 / 移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 本機の処理負荷の状態や音楽 CD 側の状態により、録音速度が等倍速より遅くなる場合があります。
- 追いかけて再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のオーディオソースをお楽しみいただくことをお勧めいたします。
- 録音中、再生が録音している部分に追いつくと再生を一時中断します。(録音は継続します。) 再生が一時中断すると、しばらく無音状態となりますので、別のオーディオソースをお楽しみいただくことをお勧めいたします。
- 音飛びなどのエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音録音されます。
- SCMS (孫コピー防止技術) の働きにより、音楽 CD をデジタル録音したディスクから MusicFolder へは録音できません。

アドバイス

- 録音方法を変更できます。
→ [CD 録音設定] (P121)

録音を開始/停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。→「音楽CDを聴く」(P51)

アドバイス

- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽CDの再生情報画面で

 → **録音開始** にタッチする

3 **開始する** にタッチする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけて再生を行います。

4 録音を停止するときは、

 → **録音停止** にタッチする



録音を停止します。

MusicFolder を聴く

MusicFolderとは、MUSICスロットに挿入されたSDカードに音楽CDの曲を録音し、再生する機能です。

注意

- 音楽用SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

お知らせ

- 本製品を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。
→「メモリ初期化」(P122)
- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本書では、MUSICスロットに挿入されたSDカードのことを“音楽用SDカード”と説明しています。

■ SD-Audioについて

本機のMusicFolderはSD-Audio規格に対応しています。

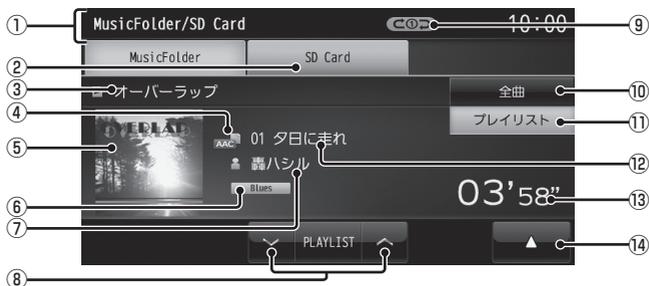
ご家庭のパソコンなどでSD-Audio規格で録音した音楽ファイルのSDカードを本機のMUSICスロットに挿入することで、MusicFolderとして再生できます。

他の機器で録音したプレイリストの情報について

他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名/トラック名/アルバム名/アーティスト名/ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の31文字以降はカットされます。
- 半角文字(カタカナ、英数字)は全角文字になります。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② **SD Card**

再生情報画面をSD Cardに切り換え、SDカードの再生を開始します。

→「SDカードの曲を聴く」(P60)

③ 全曲/プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑧ **▼ PLAYLIST ▲**

プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。)

タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑩ **全曲**

全曲のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P67)

⑪ **プレイリスト**

プレイリスト選択画面を表示します。
→「プレイリスト選択画面」(P66)

⑫ トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

⑬ 再生時間

⑭ **▲**

サブメニューを表示します。再生モードの変更やNoTitleリストの表示、MusicFolderの全消去が行えます。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タッチすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P67)

② 戻る

MusicFolderの再生情報画面(P65)に戻ります。

③ ▼PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑤ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更やプレイリストのタイトル変更、再生順序の変更、消去が行えます。

■ トラックリストについて



① 全曲/プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。
タッチすると、選択した曲の再生を開始します。

③ 戻る

全曲再生の場合は、再生情報画面 (P65) を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 (P66) を表示します。

④ ▼PLAYLIST▲

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑥ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更やトラックの情報編集、再生順序の変更、消去が行えます。

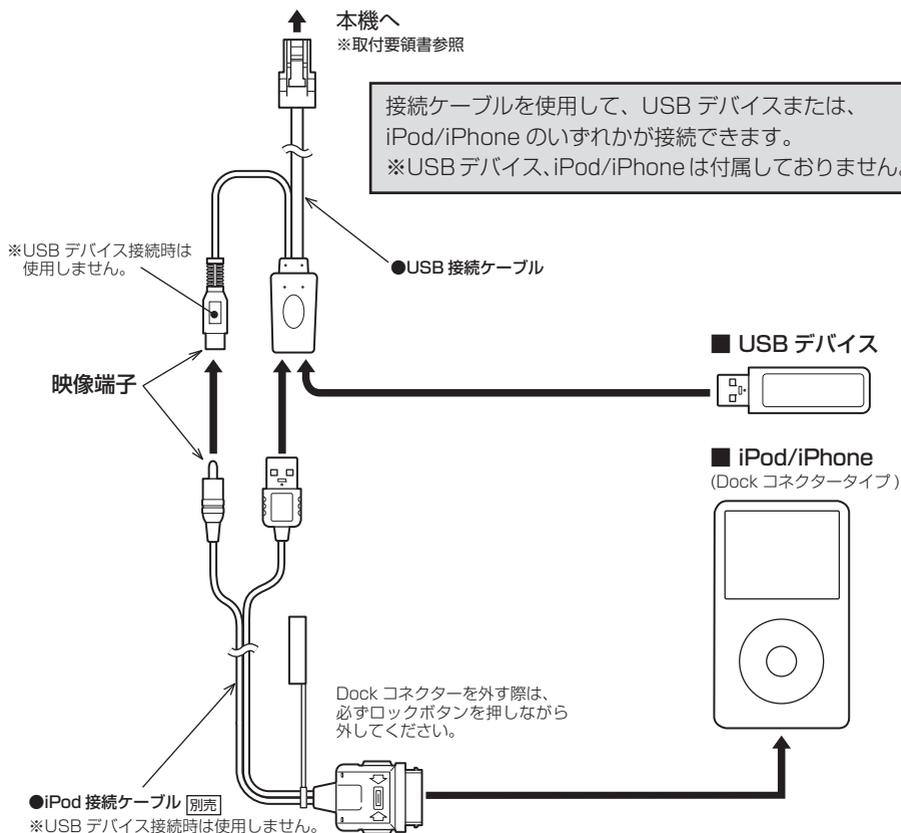
⑦ 再生画面

MusicFolderの再生情報画面 (P65) に戻ります。

iPod/USB メモリ

接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone および USB デバイスの接続方法を説明します。



注意

- iPod/iPhone を接続する場合は、当社指定の iPod 接続ケーブルをお買い求めください。他社製 (Apple 純正を含む) を接続した場合は、動作保証致しかねますのでご了承ください。
- Lightning コネクタタイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Dock コネクタに変換できる Apple 純正の Lightning-30 ピンアダプタ (0.2m 品は除く) をご使用ください。但し、動画再生には対応しておりません。
- 各コネクタ方向に注意してください。コネクタ方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクタや iPod/iPhone 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体や Apple 純正の Lightning-30 ピンアダプタ (0.2m 品は除く) を車内に放置しないでください。

iPodを再生する

USB 接続ケーブルおよび別売の iPod 接続ケーブル、市販されている iPod を本機に接続することで、iPod の映像や音声を本機で再生できます。

お知らせ

- 正しく動作しないときは、iPod/iPhone を本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときに iPod/iPhone のデータが消失しても、その補償は致しかねます。

表示内容について

■ ミュージック再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や状態アイコン、再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

③ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

④ アートワーク

iPod 内にアートワーク情報があれば、画像を表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ iPodメニュー

ミュージックメニューを表示します。
→「ミュージックメニューについて」(P70)

⑦ 状態アイコン

⑧ 再生モード表示 (ミュージックのみ)

現在の再生モードを表示します。



再生を開始します。



再生を一時停止します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑫ 再生時間 (ミュージックのみ)



サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

※ チャプターリスト

(オーディオブック再生中のみ)
オーディオブックのチャプターリストを表示します。

■ ミュージックメニューについて

ミュージック再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。ミュージックメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

カテゴリーメニュー



カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。
戻る	再生情報画面に戻ります。 →「ミュージック再生情報画面について」(P69)
ビデオ	ビデオメニューを表示します。 →「ビデオメニューについて」(P71)
▲	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

■ ビデオ再生情報画面について

ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。



iPod メニュー	ビデオメニューを表示します。 →「ビデオメニューについて」(P71)
▲	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。
チャプターリスト (オーディオブック再生中のみ)	オーディオブックのチャプターリストを表示します。
▶	再生を開始します。
⏸	再生を一時停止します。

■ ビデオメニューについて

ビデオ再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。

ビデオメニューからさまざまなカテゴリのリストを表示できます。

お知らせ

- ビデオメニューのカテゴリメニューは iPod から情報を取得しています。そのため、iPod の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより表示内容が異なります。

カテゴリメニュー



カテゴリメニュー	各カテゴリのリストを表示します。
戻る	ビデオ再生情報画面に戻ります。 →「ビデオ再生情報画面について」(P70)
ミュージック	ミュージックメニューを表示します。 →「ミュージックメニューについて」(P70)
	サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

USBデバイスの曲を聴く

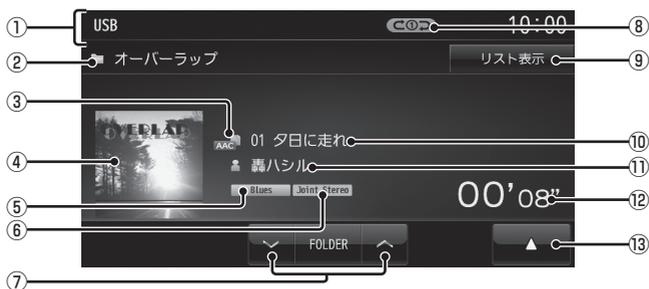
USB接続ケーブルおよび市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

表示内容について

再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダ名を表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

⑦ FOLDER

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑨ リスト表示

フォルダリストを表示します。
→「リストについて」(P73)

⑩ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

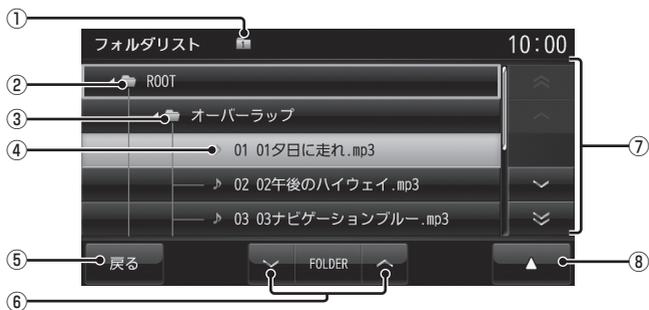
⑫ 再生時間

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる「再生方法」が選べます。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

⑥ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ ▲

サブメニューを表示します。

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

リスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

このサブメニューでは、再生モードの変更や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最適な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV番組(有料番組)に対応していません。
- 地上デジタルTV放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

miniB-CASカードについて

本機には、miniB-CASカードを付属しています。付属のminiB-CASカードは地上デジタルTV放送を視聴していただくためにお客さまへ貸与された大切なカードです。番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないと地上デジタルTV放送を見ることができません。

お知らせ

- 別紙miniB-CASカードの使用許諾契約約款および裏面の注意や警告を必ずお読みください。
- 破損や紛失などの場合はただちにB-CAS(株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)のカスタマーセンターへご連絡ください。
- お客さまの責任で破損・紛失した場合は、再発行費用が請求されます。

■ miniB-CASカード取扱上の注意点

- ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- カードのIC面には手を触れないでください。
- 分解・加工はしないでください。

■ miniB-CASカードについてのお問い合わせ先

株式会社ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

電話：0570-000-250
045-680-2868
(IP電話からの場合)

受付時間：10:00～20:00
(年中無休)

ホームページアドレス：
<http://www.b-cas.co.jp>

■ miniB-CASカードを入れる

1 ▲ キーを押す

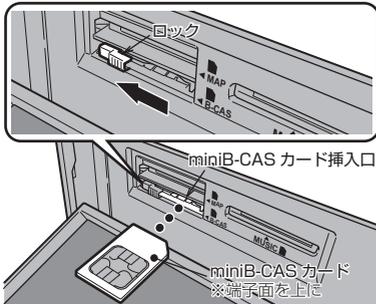
2 **モニター OPEN** にタッチする



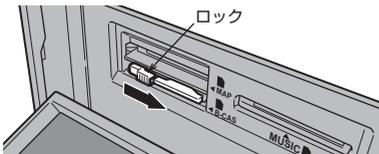
パネルが開きます。

3 miniB-CASカードを挿入する

ロックを外し、miniB-CASカードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。



4 ロックする



5 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 本機専用のminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードが機能しません。
- 画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

■ miniB-CASカードを抜く

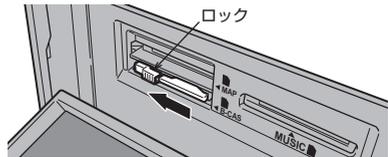
1 ▲ キーを押す

2 **モニター OPEN** にタッチする



パネルが開きます。

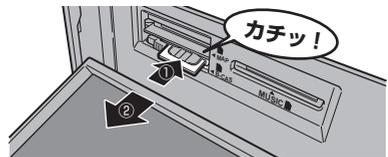
3 ロックを外す



注意

- ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

4 miniB-CASカードを「カチッ」と音がするまで押す



カードが飛び出し抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

5 ロックする

ロックが外れているとパネルが開きません。

6 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 地上デジタルTV使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。
- カードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 TV にタッチする

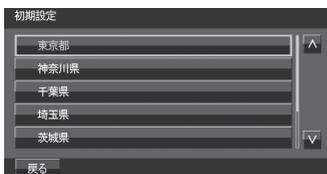
3 居住地域 にタッチする



4 設定したい“地方”にタッチする



5 設定したい“都道府県”にタッチする



6 スキャン開始 にタッチする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

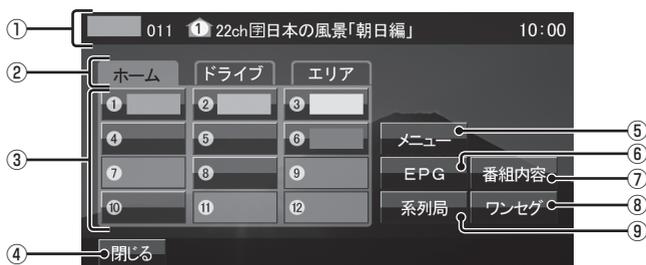
お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタッチした場合はホームCHに登録されません。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

① マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

① : ホーム CH

① : ドライブ CH

① : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

ホーム にタッチすると、ホームCHスキャンで登録した放送局を選べます。

ドライブ にタッチすると、ドライブCHスキャンで登録した放送局を選べます。

エリア にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号

タッチすると、登録された放送局を表示します。タッチし続けることで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ **メニュー** (P123)

各種設定を行います。

⑥ **EPG**

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ **番組内容**

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ **ワンセグ/フルセグ**

フルセグとワンセグを切り換えます。タッチし続けることで、自動ワンセグ切り換えの設定ができます。

⑨ **系列局**

系列局の放送局を表示します。タッチし続けることで系列局サーチを開始します。

アドバイス

- **◀TRACK** キーまたは **TRACK▶▶** キーを押すと、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- CHモードが[ホーム]のとき、**◀TRACK** キーまたは **TRACK▶▶** キーを押し続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
- CHモードが[ドライブ]のとき、**TRACK▶▶** キーを押し続けると、初期ドライブCHスキャンを行い、**◀TRACK** キーを押し続けると再ドライブCHスキャンを行います。

■ 走行制限の表示について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

ホームCH にタッチすると、ホームCHスキャンで登録した放送局を選べます。

ドライブCH にタッチすると、ドライブCHスキャンで登録した放送局を選べます。

エリアCH にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号

タッチすると、登録された放送局を表示します。

④ ワンセグ/フルセグ

フルセグとワンセグを切り換えます。

⑤ 系列局サーチ

系列局サーチを開始します。再度、タッチすると中止します。

⑥ ドライブCHスキャン

タッチすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

外部入力機器

Bluetooth Audioを使う

本機では、市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。

お知らせ

- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペック通りに動作しない場合があります。
- 市販されているBluetooth対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器のBluetooth接続によるデータ通信機能を使用すると通信中に音飛びすることがありますが、故障ではありません。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になる恐れがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。

■ 対応プロファイルと対応機能について
各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート：1.6kHz、3.2kHz、44.1kHz、48kHz

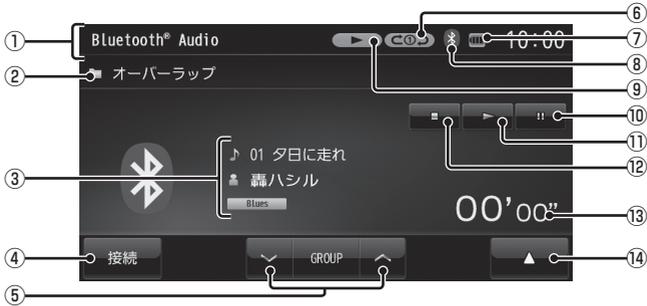
機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4
再生/停止/一時停止の操作	○	○	○
早送り/早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
グループの選択操作	×	○	○
リピート/ランダム/スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
バッテリー残量の表示	×	○	○
グループリストの表示	×	×	×
グループリストからの選曲	×	×	×

Bluetooth対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。接続は「Bluetoothの設定」(P122)をご覧ください。

以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名を表示します。

② グループ名*

③ トラック名/アーティスト名/ジャンル名*

④ 接続

Bluetooth 接続機器選択画面を表示します。

⑤ ▼ GROUP ▲ *

グループを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のグループへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ 再生モード表示*

⑦ バッテリー残量表示*

接続している Bluetooth 対応オーディオ機器のバッテリー残量を表示します。

⑧ Bluetooth 接続アイコン

⑨ 状態アイコン*



一時停止にします。



一時停止、停止の状態を解除して通常の再生に戻ります。



再生を停止します。

⑬ 再生時間*



サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

* AVRCPがv1.0のときや情報が取得できないときは表示しません。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GPS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GPS (Global Positioning System)

GPS衛星を利用して位置を検出するシステムを「GPS」といいます。このGPS衛星の電波を受信して約30～200mの誤差で自車の位置を測位します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。
- GPS衛星はアメリカ合衆国の国防総省が管理しており、故意に位置精度を落とすことがあります。このとき、自車の位置が正しく表示されないことがあります。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

自車の位置は、GPS衛星からの微弱な電波を「GPSアンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

- GPS衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- GPSアンテナの上や周辺にものを置いたり、ETCアンテナを取り付けたりしないでください。
- 携帯電話やPHS、パソコンなどをGPSアンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面

[現在地] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 方位アイコン

タッチすると、地図切換画面を表示します。
(→P89)

② スケールアイコン

表示されている地図のスケールを示します。
タッチすると、スケールを変更します。
(→P91)

③ エコスコアアイコン

ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価を確認できます。数字が大きいほど良い評価となります。

④ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点までの距離および曲がる方向を示します。タッチすると、交差点案内図を表示します。(→P100)

⑤ 自車位置マーク

矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑥ (VICsスイッチ)

VICSの提供時刻および提供メディア名を表示します。タッチすると、VICsメニューを表示します。(→P106)

⑦ 目的地/経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、方向および距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。

⑧ 各アイコン

カメラや電話、オーディオの現在の状態を表示します。(→P84)

⑨ 時計

24時間制で現在時刻を表示します。

⑩ レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

⑪ 緑色の矢印

レーン情報を表示している交差点を示しています。

⑫ ルート

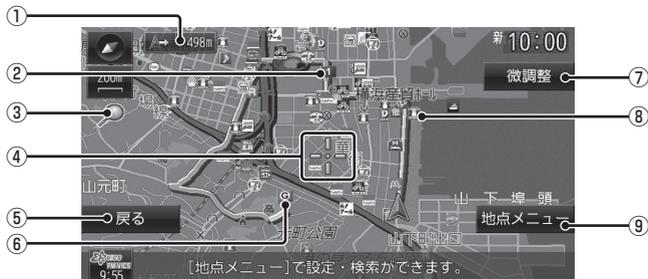
目的地までの道程を矢印または線で表示します。[表示の設定]の「探索ルート」で[矢印]または[線]を選ぶことができます。
→[NAVIの設定](P121)

⑬

サブメニューを表示します。(→P86)

■ スクロール画面

地図スクロール (P91) を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① 自車位置までの距離

☰ マークから自車位置までの距離を表示します。

② 1 マーク

設定された経路地を 1 マークで示します。経路地は5つまで設定でき、通過する順に 1, 2, 3, 4, 5 と表示します。

③ 2 マーク

1kmスケール以下の地図を表示中、市街地地図が表示できる場合に表示します。「INFOの設定」の「エコ情報の設定」(P122)で、「エコスコア表示」を[表示する]に設定されていると表示できません。表示できるようにしたいときは、この設定を[表示しない]に設定してください。エコスコアアイコンに代わって表示できるようになります。

④ 3 マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点メニュー (P85) が表示できるときはオレンジ色、表示できないときは白色で表示します。

⑤ 戻る

1つ前に戻ります。

⑥ G マーク

設定された目的地 (P96) を G マークで示します。

⑦ 微調整

☰ マーク位置を微調整できます。

⑧ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑨ 地点メニュー

地点メニュー (P85) を表示します。目的地や経路地、登録地の設定が行えます。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路(細街路)は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑧ランドマークは[表示の設定]の「ランドマーク」で[表示しない]に設定すると地図画面から表示を消すことができます。→「NAVIの設定」(P121)
- ⑧ランドマークは種類ごとに表示有無を選ぶことができます。

■ 各アイコンについて

現在地画面 (P82) に表示されるアイコンについて説明します。

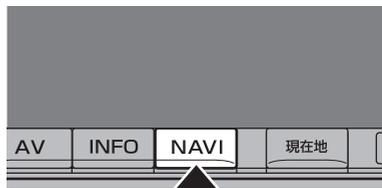
 ※ 1	<p>リアカメラのみが装着されている場合 シフトポジションを「R」にすると、リアカメラ映像を表示します。シフトポジションを「R」にしたまま現在地画面に戻ったときのみ  を表示します。  にタッチすると、リアカメラ映像を表示します。</p> <p>フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラのみが装着されている場合 現在地画面に常時表示されます。  にタッチすると、サブカメラ映像を表示します。</p> <p>すべてのカメラが装着されている場合 現在地画面に常時表示されます。  にタッチすると、シフトポジションが「R」ならリアカメラ映像を表示します。それ以外の場合に  にタッチすると、サブカメラ映像を表示します。</p>
	<p>Bluetooth 接続されていると表示します。 →「Bluetooth の設定」(P122)</p>
	<p>電波の強度を表示します。</p>
	<p>電話を使用すると表示します。電話操作パネルを再表示します。</p>
<p>AVアイコン</p>	<p>現在使用しているオーディオソースの状態を表示します。タッチするとオーディオ画面に切り換えることができます。 [表示の設定]の「AVアイコン」で表示有無を選ぶことができます。 →「NAVI の設定」(P121)</p>

※ 1 カメラ接続時のみ表示します。

NAVI メニューを表示する

目的地の設定やルート編集がこのメニュー画面から行えます。

1 NAVI キーを押す



NAVI メニューを表示します。

地点メニューを表示する

スクロール (P91) した  地点を目的地に設定したり登録地に設定したりできます。

アドバイス

- 検索結果で表示される地図画面からも [地点メニュー] にタッチすることで、地点メニューを表示できます。

1 スクロール画面で、 地点メニュー にタッチする

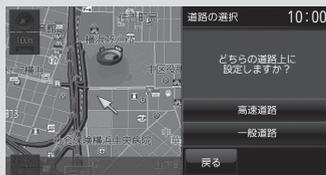


地点メニューが表示され、 マークから  マークに変わります。

ここへ行く	 地点を目的地に設定できます。
ここへ寄る	 地点を経由地に設定できます。
登録する	 地点を登録できます。
周辺施設を探 す	 地点周辺の施設を探すことができます。
建物の情報を見 る	 地点が  に変わるとその地点の建物情報を表示できます。
戻る	1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- 目的地 / 登録地を設定する際、 地点から約半径200m以内に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路]、[有料道路]、[一般道路] または [トンネル] を選択する画面を表示します。)



サブメニューを表示する

ここでは、現在地画面 (P82) から表示するサブメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



サブメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではサブメニューを表示するためのタッチスイッチを ▲ と記載しています。
- ▲ が表示されている画面であれば、タッチすることでその機能ごとのサブメニューを表示できます。

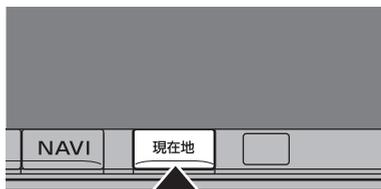
現在地画面を表示する

スクロール画面 (P83) やNAVIメニュー (P84)、地点メニュー (P85) などから現在地画面 (P82) を表示できます。

アドバイス

- AV画面やINFO画面などその他の機能からも現在地画面を表示できます。

1 現在地 キーを押す



ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

施設名称入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“白色の文字”は現在入力中（繰り返しタッチ中）の文字です。

“オレンジ色の文字”は確定前の文字です。

“黒色の文字”は、確定済みの文字です。

② 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。同じ文字を繰り返しタッチすることで、“あ→い→う→え→お→あ・・・”などのように入力できます。

③ 小

繰り返しタッチ中の文字を拗音（ようおん）、促音→濁点→半濁点の順に変換します。

④ →

繰り返しタッチ中の状態を解除します。未確定の文字がある場合は、文字を確定します。

⑤ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑥ 確定

未確定の文字を確定します。

⑦ &

①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加できます。

キーワードは最大3語まで指定できます。

⑧ 入力候補リスト

入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。

タッチで入力文字表示部へ入力します。

⑨ ←

繰り返しタッチ中の文字を1つ前の文字に戻します。

⑩ リスト

入力した文字の検索結果を表示します。

⑪ 後退

未確定の文字を1文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。

タッチし続けるとまとめて削除できます。

地図画面を選択する

地図の画面分割方法や向き、種類を切り換えることができます。

1 “方位アイコン” にタッチする

方位アイコン



2 “画面分割” または “地図向き”、“地図の種類” のいずれかにタッチする



地図の画面分割方法または向き、種類が切り換わります。

アドバイス

- 地図の画面分割方法と向き、種類は別々に選択できます。
- スタンダード2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の方位アイコンにタッチします。



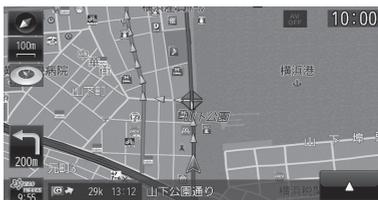
ただし、右画面に3Dビューマップは表示されません。

地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

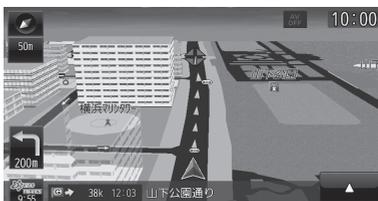
■ 2Dマップ

「自動車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。



■ 3Dビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- 3Dビューマップ表示中、 → [3D視点] にタッチすると、角度を切り換えることができます。

■ シンプルマップ

ルート案内中、案内交差点などをより見やすく表示します。



- ルート周辺の地図をグラデーション表示にします。
- 次に曲がる案内交差点の信号や交差点名を大きなシンボルで表示します。
- 次に曲がる案内交差点の目印になる商標ランドマークを大きな吹き出しで表示します。
- ルート付近にある各交差点の信号や交差点名をシンボルで表示します。
- ルート付近にある商標ランドマークを吹き出しで表示します。

アドバイス

- 縮尺が200m以下のときに表示できます。
- グラデーション表示は、ルート案内時に走行しているときにのみ表示します。停車中は表示されません。
- 交差点案内図や高速略図 (P95)、PsidePを表示しているとき、シンプルマップのグラデーションは表示されません。

地図を操作する

スケールの切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

スケールの切り換え

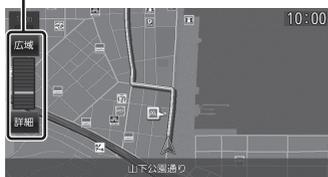
広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 “スケールアイコン” にタッチする

スケールアイコン



スケール変更バー



スケール変更バーを表示します。

2 [詳細] にタッチする

タッチするたびに詳細に表示します。

3 [広域] にタッチする

タッチするたびに広域に表示します。

アドバイス

- [詳細] または [広域] を押し続けることで連続的にスケールを切り換えることができます。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- スタンダード以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

1 見たい場所にタッチする



マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

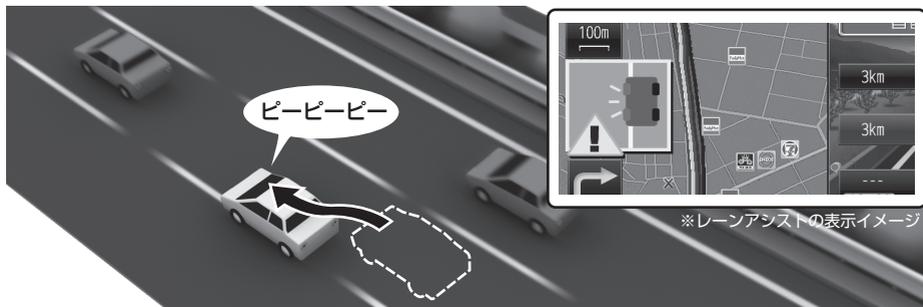
- [戻る] にタッチすると現在地画面 (P82) に戻ることができます。
- 押し続けることで連続的にスクロールすることができます。
- [地点メニュー] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。

レーンアシストを使う

高速道路や都市高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、または、はみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

警告

- レーンアシスト機能は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
本機能がない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。



お知らせ

- 本機とリアカメラが接続でき、リアカメラの映像を表示できた場合でも三菱電機ホームページに記載されていない指定外のカメラについてはレーンアシスト非対応となります。
- 意図した車線変更を行った場合でも検知することがあります。

アドバイス

- 警告は、ブザー音のみまたはブザー音と表示を選ぶことができます。
→「レーンアシストの設定」(P122)

ご使用になるには

レーンアシスト機能をご使用になるには、別売のリアカメラの接続および以下の操作が必要です。

1 「リアカメラの接続設定」を行う

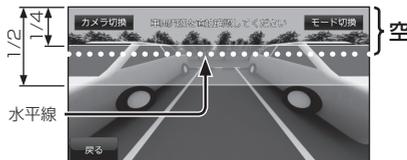
「リアカメラの接続設定」が[接続あり]になっている必要があります。

詳しくは取付要領書をご覧ください。

※三菱電機製リアカメラ (BC-20M) を接続していた場合は、本操作の必要はありません。

2 別売リアカメラの取付角度を調整する

映像 (画面) の中で $1/4 \sim 1/2$ の範囲内に空 (水平線) が収まるようリアカメラをやや下向きに調整し取り付けください。



3 「レーンアシストの設定」を行う

「取付カメラ設定」の完了および「レーンアシスト」で[使用する]にしておく必要があります。
詳しくは取付要領書をご覧ください。

ご利用上の条件

以下で示す状況下では、正しく動作しない場合や再設定が必要な場合があります。

注意

- リアカメラのレンズを汚したり、傷つけたりしないでください。また、水滴や結露がないことをご使用前に確認してください。
- リアカメラは取り付けを変更したり、取り外したりしないでください。リアカメラの取り付けを変更した場合は、設定値を再設定する必要がある場合があります。
- リアカメラに強い衝撃や力を加えないでください。また、分解しないでください。

車両・走行状態の影響

カメラ高さが変わった

以下の場合には、再設定が必要です。

- サイズの異なるタイヤに交換またはサスペンションを交換したことにより車高が著しく変わった。
- 新しいタイヤに変更した直後。

車両が想定外の姿勢になった

以下の場合には、正しく動作しない場合があります。

- 重い荷物を積載している。
- タイヤの空気圧が調整不良になっている。
- キャンピングカーなどを牽引(けんいん)している。
- 車線規制や工事などによる仮設の車線を走行している。
- 合流や分岐した道路を走行している。
- 急カーブを走行している。
- 急な車線変更を行った。
- 状態が悪い、継ぎ目があるなどの道路を走行して車両に大きな上下運動が発生した。
- 著しく速い速度で走行している。
- うねりのある道路や状態の悪い道路を走行している。
- 凸凹がある路面の走行やジグザグ走行をしている。
- リアカメラの光軸がずれている。
- マフラーからの煙がリアカメラに入っている。
- 道路上の白(黄)線が砂ぼこりなどで見えにくくなる。または、見えない。
- 雨、雪、霧などで道路上の白(黄)線が見えない。または、見えにくくなっている。

設定した条件に達していない

以下の場合には、レーンアシスト機能が自動的にOFFになります。

- 高速道路などで走行車線や追い越し車線以外を走行している。
- 車両が停止している。または、ゆっくり走行している。

リアカメラの問題

以下の場合には、レンズ面の洗浄を行ってください。

- リアカメラのレンズ面が汚れている。

明るさ、外乱光や影の影響

以下の場合には、正しく動作しない場合があります。

- 街灯などの光源がなく暗い道路を夜間走行している。
- 車両後方が暗い。(ランプ不灯、バルブ切れ、汚れ、光学式ナンバーなど)
- 夜間に後続車が接近している。または、後続車のヘッドライトが上向きになっている。
- 降雨時や雨上がりなどで、路面が濡れて光っている。または、水溜まりがある。
- 朝日や夕日など太陽の光がリアカメラに入る。
- トンネルの出入り口などを走行していて明るさが急激に変化した。
- 照り返しなどにより明るくなった道路を走行している。

道路上の白(黄)線や路面の状態(カスレ、汚れ、隠れ)の影響

以下の場合には、正しく動作しない場合があります。

- 路側物に道路上の白(黄)線と誤認識するような構造物や模様(ガードレール、縁石、反射ポールなど)がある。
- 帯状に雪が残った雪道を走行している。
- 道路上の白(黄)線と平行に近い影がある。
- 道路上の白(黄)線が影の中にある。
- 道路の修復などのアスファルト修復跡やペイント跡が残っている。
- 道路上の白(黄)線が検札所や料金所手前などで途切れている。
- 道路の白(黄)線が片側のみある。
- 極端に狭いまたは広い車線を走行している。
- 道路上の白(黄)線が存在しない。
- 道路上の白(黄)線周辺に積雪や融雪剤がある。
- 道路上の白(黄)線を隠す障害物がある。
- 路面の色や明るさが一様でない。
- カスレや汚れにより、はっきり見えない。
- コンクリート路のような明るい路面で、道路上の白(黄)線と路面のコントラスト差が少ない。
- キャッツアイやチャンターバー(道路上の白(黄)線に取り付けられた反射板)がある。
- 路面補修痕、タイヤスリップ痕、道路のジョイントなどがあある。
- 道路上の白(黄)線の寸法や形状が規格外るとき。
- 自車や他の車両、ガードレール、道路構造物(街路樹など)の影付近や影の中に白(黄)線がある。
- 注意喚起のため以下のようなレーンになっているとき。



表示内容について

レーンアシストの表示は、状況に応じて変わります。各状況に応じた状態をあらかじめ理解した上でご使用ください。



レーンアシストの表示

表示内容	状態 / 内容
車の表示は黒 	レーンアシスト機能OFF 「レーンアシストの設定」(P122)の「検知開始速度」で設定した速度未満で走行している。
車の表示は白 	レーンキープ中
	レーン左側にはみ出した、または近づいた
	レーン右側にはみ出した、または近づいた
車の上に「？」表示 	レーンアシスト機能不能 設定変更後などによる学習中になっている。 路面の積雪、リアカメラレンズの汚れ、逆光などが原因で道路上の白(黄)線が見えない状態になっている。

お知らせ

以下の場合、レーンアシストの表示は行いません。

- 高速道路や都市高速を走行していない。
- 本機で表示されていない高速道路や都市高速を走行している。
- 「レーンアシストの設定」の「警報の種類」が「ブザーのみ」になっている。
→「レーンアシストの設定」(P122)

レーンアシスト機能を一時停止する

レーンアシスト機能動作中に一時停止することができます。

1 レーンアシストスイッチにタッチする



レーンアシストスイッチ



レーンアシストスイッチの表示が「動作中」から「停止中」に変わり、一時停止状態となります。再度、動作させるときはもう一度レーンアシストスイッチにタッチします。

ブザー音について

- ブザー音はレーンからはみ出し量に応じて3段階で変化します。(はみ出し量が多いほどブザー音は大きくなります。)
- ブザー音は、レーン右側にはみ出したときは、右前のスピーカーが鳴り、レーン左側にはみ出したときは左前のスピーカーが鳴ります。
- ブザー音はレーンからはみ出している間、最長で約10秒間鳴り続けます。10秒を過ぎてもレーンからはみ出している場合は、ブザー音が鳴り止みますのでご注意ください。

アドバイス

- レーンアシスト機能のブザー音の音量は「レーンアシストの設定」の「警報音量」で変更できます。
→「レーンアシストの設定」(P122)

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下の通りです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について



① 施設情報

入口情報や到着予想時刻、施設の情報を表示します。

SA,PAの場合

この場所にある施設のマークを表示します。

ICの場合

施設情報は表示しません。

JCTの場合

この場所より分岐している路線を選択できます。

② スマートICアイコン

スマートICがある施設に表示します。

③ 到着予想時刻

施設に到着する予想時刻を表示します。

④ 路線名

現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

⑤ 施設名と残距離表示

SA,PA,IC,JCTの名称と自車位置からの距離を表示します。

降りることができないインターチェンジは色が変わります。

1km未満は「—」と表示し、最大999kmまで表示します。

⑥ 自車表示

現在地から最も近い施設がリストに表示しているときに表示します。

⑦ 渋滞情報

混雑（橙）、渋滞（赤）、通行止め（灰）の状況を色で表示します。

⑧ VICS記号表示

IC,JCTなどの施設を拠点とした規制は右側に表示します。

各区間中にある規制は左側に表示します。
→「VICS記号について」(P107)

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P102) を目的地に設定します。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 自宅 にタッチする



探索条件設定画面 (P99) を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。
→「自宅を登録する」(P102)

3 案内開始 にタッチする



自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすポップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

探した場所を目的地に設定する

探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



3 探した場所が表示されたら

地点メニュー にタッチする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 ここへ行く にタッチする



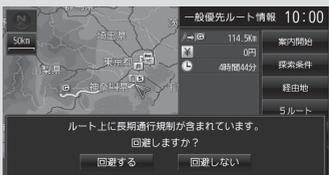
5 案内開始 にタッチする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすポップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

スマートフォンから探す

スマートフォン (NaviCon アプリが使用できる端末) から目的地を探し、本機に転送することができます。

転送後、本機からルートの探索を行います。



注意

- 運転中にスマートフォンを手を持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

お知らせ

- 本機能を iPod/iPhone でご使用になるときは、iPod/iPhone を iPod 接続ケーブルで本機に接続しないでください。iPod 接続ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。詳しくは、NaviCon サポートサイトをご覧ください。
<http://navicon.denso.co.jp/user/support/>



1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ Bluetooth 機能を使ってスマートフォンを本機に接続しておく必要があります。

接続は、「Bluetooth の設定」(P122) をご覧ください。

2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

本機にスマートフォンから転送した地点周辺の地図が表示されます。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューを表示する」(P85)

■ 対応機能について

NaviCon アプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviCon との連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○

お知らせ

- NaviCon アプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon 側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。
- NaviCon アプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を経由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。この現象は、スマートフォン側の操作音を OFF すると改善します。

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。



① ルートの情報

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑤ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

⑥ 探索条件

目的地までのルートの探索条件を変更できます。
→「探索条件の種類について」(P101)

⑦ 経由地

経由地の追加や変更が行えます。

⑧ 5ルート

異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

⑨ 渋滞予測経路 ^{*}1 / 通常経路

[渋滞予測経路]にタッチすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報(渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など)を考慮したルートを探します。
[通常経路]にタッチすると、通常のルートを探します。

⑩ 省エネ情報

推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができていないかの度合いを確認できます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	
節約できない	

お知らせ

- [5ルート]→[省エネ]を選んだときに表示します。
- 標準的なガソリン車を想定しています。
- ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- 実際の消費燃費は交通状況など様々な条件で変動することがあります。
そのため、省エネ情報と異なる結果となる場合があります。

^{*}1 渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センター (JARTIC) から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICISセンター) の技術が用いられています。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タッチしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタッチする



交差点案内アイコン



次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できるスケールの地図を表示します。

1 現在地画面で にタッチする



2 にタッチする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定できます。また、ルートの探索方法を変更できます。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを編集する にタッチする



探索条件設定画面 (P99) を表示します。

■ 探索条件の種類について

[探索条件]にタッチすると、以下の中から探索条件を選ぶことができます。

推奨	目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探します。
省エネ	目的地（経由地）までなるべく燃費節約となるルートを探します。
有料優先	目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
一般優先	目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
距離優先	目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探します。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを消去する にタッチする

3 消去する にタッチする

ルートの消去が完了し、現在地画面 (P82) を表示します。

登録地の設定

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておく、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大99件まで登録できます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、「自宅を目的地に設定する」(P96)をご覧ください。
- 自宅は1件のみ登録できます。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 自宅 にタッチする

3 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



アドバイス

- 現在地が自宅の場合、「地図から探す」にタッチすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら 決定 にタッチする



探した場所に  マークが表示され、自宅の登録地情報 (P103) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。
「登録地情報を変更する」(P103)の手順6以降の操作を行ってください。

5 終了 にタッチする

自宅の登録が完了します。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所(自車位置)を登録します。

1 現在地画面で 現在地 キーを押し続ける

現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
→「登録地情報を変更する」(P103)

登録地を変更する

自宅や登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

登録地情報を変更する

自宅や登録地の各情報を変更できます。

1 NAVI キーを押す

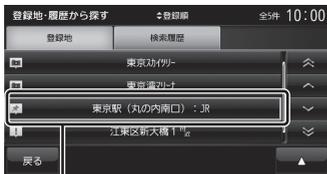
NAVIメニューを表示します。

2 登録地/履歴 にタッチする



自宅を変更したい場合でも、[登録地/履歴]にタッチします。

3 ↓, ↑ で変更したい“登録地”にカーソルを合わせる



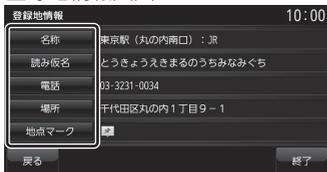
カーソル (オレンジ)

4 ▲ にタッチする

5 詳細情報 にタッチする

6 変更したい“情報”にタッチし、変更する

登録地情報画面



登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

名称	地図画面で表示される登録地の地点マークの名称を変更できます。
読み仮名	登録地名称の読み仮名を変更できます。
電話	登録地に電話番号を登録しておくことができます。
場所	自宅や登録地の場所を変更できます。
地点マーク	地図画面に表示される登録地のマークを変更できます。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用できます。

VICS のメディアと特徴

- VICS のメディアには、FM 多重放送、光ビーコン、電波ビーコン、DSRC、オンライン受信があります。

■ FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

■ 光ビーコン

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(光ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光 / 電波ビーコン受信機が必要です。

■ 電波ビーコン

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(電波ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光 / 電波ビーコン受信機が必要です。

■ DSRC

専用狭域(きょういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能のためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。DSRC 機能については、「DSRC 機能」(P109)をご覧ください。

※ 別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器が必要です。

■ オンライン受信

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信は、以下の2種類があります。また、あらかじめ登録作業が必要です。

詳しくは「オンラインの情報を受信する」(P108)をご覧ください。

※ Bluetooth 接続ができる DUN プロファイルに対応した携帯電話が必要です。

オンデマンド VICS

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などの VICS 情報を取得できます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ オンデマンド VICS の情報は、インクリメント P 株式会社 が運営する「インクリメント P 交通情報サービス」からの提供です。

※ 本サービスで使用する VICS 交通情報は財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

スマートループ渋滞情報[®]

本製品のスマートループ渋滞情報[®]は、パイオニア カロツツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS 渋滞情報と合わせて全国約 70 万 km におよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ 本製品はパイオニア(株)が運営・管理するスマートループ渋滞情報[®]を使用しています。

スマートループ渋滞情報[®]はパイオニア(株)の登録商標です。

※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認できます。

② (VICS スイッチ)

VICS 情報の提供時刻および提供メディア名を表示します。

(受信した時刻ではありません。)

タッチで VICS メニューを表示します。

→「VICS メニューについて」(P106)

③ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認できます。

④ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認できます。

アドバイス

- 本機の VICS 機能では、VICS 記号を見やすく強調するための機能が用意されています。
一部の地図色を変更し、VICS 記号が強調されます。
- 工場出荷時は [VICS の設定] の [VICS 受信時地図色] が [変えない] に設定されていますので、VICS 記号が見にくい場合は [変える] に設定してください。
→「NAVI の設定」(P121)

■ VICS スイッチについて

受信した最新の提供メディア名が表示されます。

	FM 多重放送
	光ビーコン
	電波ビーコン
	DSRC
	オンライン受信

■ VICSメニューについて



① 提供時刻

各メディアのVICS情報提供時刻を表示します。

② オンラインで受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンドVICS情報およびスマートループ渋滞情報[®]を取得できます。

→「オンラインの情報を受信する」(P108)

③ 駐車場情報

現在地周辺の駐車場情報を確認できます。

④ 規制情報

現在地周辺の規制情報を確認できます。

⑤ FM多重情報

文字または図形によるVICS情報を確認できます。

⑥ ビーコン情報

DSRCの安全運転支援情報(P109)、光ビーコン、電波ビーコンから取得した文字または図形によるVICS情報を確認できます。

⑦ 緊急注意情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認できます。

⑧ VICS渋滞情報表示 / 予測渋滞情報表示

地図上にVICS渋滞情報または予測渋滞情報を表示します。

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

- 空車 (青色)
- 満車 (赤色)
- 混雑 (オレンジ色)
- 不明 (黒色)
- 閉鎖

渋滞情報

黒色(実線)	通行止め
赤色(実線)	一般道路渋滞
赤色(点線)	高速道路渋滞
橙色(実線)	一般道路混雑
橙色(点線)	高速道路混雑
紫色(実線)	一般道路渋滞(予測)
紫色(点線)	高速道路渋滞(予測)
桃色(実線)	一般道路混雑(予測)
桃色(点線)	高速道路混雑(予測)

アドバイス

- ・通行止めは高速略図(P95)で表示します。
- ・スマートループ渋滞情報[®]では、渋滞線の両側に縁取りがあります。

規制情報

- 事故
- 工事
- 路上障害
- 通行止め
- 作業
- 速度規制 (例 60km)
- 進入禁止
- 車線規制
- 徐行
- 対面通行
- 片側交互通行
- 入口閉鎖
- チェーン規制
- 冬期通行止め
- 入口制限
- その他の規制情報
- 故障車

VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、「三菱電機カーインフォメーションセンター」までご連絡ください。

- ・ VICS 車載器の調子や使用方法
- ・ VICS 車載器の受信可否に関して
- ・ 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- ・ VICS 情報の受信エリアについて
- ・ VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター」までご連絡ください。

- ・ 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- ・ 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- ・ VICS の概念
- ・ サービス提供エリアに関して

■ (財) VICS センター

お問い合わせ窓口: サービスサポートセンター

受付番号	0570-00-8831 全国から市内通話料金でご利用になれます PHS、IP 電話などからはご利用できません
電話受付時間	9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
受付 FAX 番号	03-3562-1719
FAX 受付時間	24 時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーインフォメーションセンター」にご連絡いただくことをお勧めします。

オンラインの情報を受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンドVICS 情報およびスマートループ渋滞情報[®]を受信します。

お知らせ

- あらかじめDUN プロファイルに対応した携帯電話と本機をBluetooth 接続しておく必要があります。→「Bluetooth の設定」(P122)
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- オンラインの情報を受信するには登録が必要となります。別紙「OpenInfo サービス ユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。さらに、[VICS の設定]の「走行情報 (オンライン)」を[送信する]にしておく必要があります。未登録の場合や[送信しない]に設定されていると、オンデマンドVICS 情報 (P104) のみを受信します。
→「NAVI の設定」(P121)

ユーザー登録	[VICS の設定] →「走行情報 (オンライン)」	オンデマンドVICS	スマートループ 渋滞情報 [®]
未登録	送信しない	○	×
	送信する	○	×
登録済み	送信しない	○	×
	送信する	○	○

1 現在地画面で  にタッチする

2 **オンラインで受信する** に
タッチする

3 **はい** にタッチする

渋滞情報の取得を開始します。



アドバイス

- 「走行情報 (オンライン)」の送信では、より充実した道路交通情報の提供に役立てるために、お客さまの走行情報などをサービス事業者提供します。
- オンライン受信の受信方法は、[VICS の設定]の「オンライン受信」で自動または手動を選ぶことができます。
→「NAVI の設定」(P121)

DSRC 機能

DSRC サービスとは

別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を本機に接続すると、さまざまな機能がご利用になれます。

DSRC の概要

Dedicated Short Range Communication の略で、専用狭域（きょういき）通信による情報提供や料金決済などのサービスのことです。今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売の三菱電機製 DSRC 車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製 DSRC 車載器と ETC カードおよび接続ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETC カード未挿入や DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、DSRC 車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- DSRC 車載器本体の詳細については、DSRC 車載器の取扱説明書をご覧ください。

DSRC サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- DSRC サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス（道の駅における情報接続、SA・PA における情報接続など）には対応していません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。受信した音声情報を、自動で読み上げないように設定する場合は [VICS の設定] で「受信情報読み上げ」を [手動] に設定します。

→「VICS の設定」(P121)

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。走行情報を提供しない場合は、[VICS の設定] で「走行情報 (DSRC)」を [送信しない] に設定します。

→「VICS の設定」(P121)

■ 安全運転支援情報

「前方の障害物情報」や「合流支援情報」、「事故多発地点情報」がリアルタイムに提供されます。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する

エコ情報を確認する

アクセルペダルやブレーキの使いかた（加速度情報）を元に判断し、運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価（エコ運転評価）を確認できます。

お知らせ

- エコ情報は省エネを保証するものではありません。あくまで参考情報としてご使用ください。また、道路交通法に従い、実際の交通規制や道路状況に合わせて走行してください。

表示内容について

[INFO]キー→[エコ情報]にタッチすると表示するエコ情報画面について説明します。



① エコ運転評価

エコ運転評価を表示します。

② eスタートマスターレベル

アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点し、採点した得点量によってバーが増減します。バーが満タンになれば、レベルがアップします。（最大レベル5まで）

③ 今回のeスタートスコア

車のエンジンをかけてから現在までのeスタートスコアを表示します。

④ 前回のeスタートスコア

前回車を利用したとき（エンジンをかけてエンジンをきるまで）のeスタートスコアを表示します。

⑤ エコ情報履歴

走行アドバイスが必要な地点を表示します。

⑥ ▲

eスタートマスターレベル、eスタートスコアを消去できます。

お知らせ表示について

走行中や目的地到着後に表示されるお知らせ表示について説明します。

■ エコスコアアイコン

ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価をドーナツグラフで表示します。



	渋滞などが原因による低速走行が続いたとき、エコスコアが計算できなくなったときに表示します。
	よい状態です。
	やや良い状態です。
	普通の状態です。
	やや悪い状態です。
	悪い状態です。

エコスコアアイコンに表示されているドーナツ量が大きいほど、燃費に良い運転ができています。(5段階で表示します。)

アドバイス

- エコスコアアイコンを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコスコア表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P122)

■ エコアドバイス

走行中、良い燃費に必要な運転方法のアドバイスを表示し、アナウンスを行います。



エコアドバイスは次のとき案内します。

- 燃料消費が少ない運転
- eスタート発進
- 急発進、急加速、急減速

アドバイス

- エコアドバイスを使用したい場合は、[エコ情報の設定]の「エコアドバイス」で[使用する]にします。
→「エコ情報の設定」(P122)

■ 目的地到着後のお知らせ

目的地の手前に近づくと、ルート走行中の評価をeスタートスコアおよびエコスコアでお知らせします。

eスタートスコア表示



エコスコア表示



アドバイス

- 目的地到着後のお知らせを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコ情報お知らせ表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P122)

ETC 情報を確認する

ETCの使いかたについて説明します。

ETC とは

ETCとは、有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。

本機に別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはDSRC車載器を取り付けることで本機能をご利用になれます。

- 有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声と画面のテロップで案内します。
- ETCの通行履歴を表示できます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製ETC車載器またはDSRC車載器とETCカードおよび接続ケーブルが必要です。但し、モデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ETCカード未挿入やETC車載器またはDSRC車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETCゲート、ETCカード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせ等を表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC車載器またはDSRC車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。
- 2002年度以前に発売されたETC車載器をご使用の場合は、履歴に時刻が表示されません。

アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、-99,999円~999,999円まで表示できます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 ETC にタッチする



全履歴情報画面を表示します。

電話を使う

電話の使いかたについて説明します。

警告



禁止

- **運転者は運転中に携帯電話を手に持って使用しない。**
走行中に携帯電話を手に持って使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- **携帯電話を放置しない。**
停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- **ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。**
事故の原因となることがあります。
[ハンズフリーの設定]の「○○音量」で適度な音量に設定しご使用ください。
→「*INFO*の設定」(P122)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth機能を使用して接続します。

接続は「*Bluetoothの設定*」(P122)をご覧ください。

以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態に接続してください。
- 機器によっては接続できないものがあります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

お知らせ

- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により3分間に4回以上かけることができない場合があります。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 “電話番号”を入力する



オフフックキー

アドバイス

- 誤入力した場合は、[消去]にタッチして修正します。

4 “オフフックキー”にタッチする

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音となり、着信中の画面が表示されます。



電話操作パネル

お知らせ

- 着信時、最初は本機が用意した着信音が鳴り、その後、携帯電話の着信音が鳴ります。(いずれも車両のスピーカーから鳴ります。)

1 電話操作パネルの 通話 にタッチする



通話することができます。

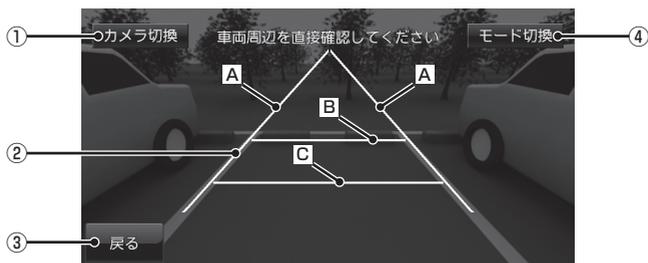
カメラを使う

別売のリアカメラまたはフロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが接続されている場合、ディスプレイに各カメラの映像を表示できます。

お知らせ

- 接続するカメラによっては、本書で記載する内容で動作しない場合があります。三菱電機製のリアカメラBC-20M以外のリアカメラを取り付けた場合はあらかじめ[リアカメラの設定]の[リアカメラの接続設定]で[接続あり]を選択する必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。
- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラを本機に接続した場合はサブカメラの設定をあらかじめ行う必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。

表示内容について



※画面はリアカメラ（ノーマルビュー）

① カメラ切換

接続されているカメラの状況によってカメラ映像を切り換えることができます。詳しくは「表示するには」(P116)をご覧ください。

② ガイド線（目安線）

車両の幅や距離の目安となる線。

A : 車幅 + 約 20cm の目安

B : 車両最後尾から約 2m の目安

C : 車両最後尾から約 50cm の目安

③ 戻る

カメラ映像を消して直前の画面に戻ります。[INFO]キーを押す続けると元のカメラ映像を表示します。

④ モード切換

（リアカメラ（BC-20M 接続時のみ））

カメラ映像のモードを切り換えることができます。

お知らせ

- ガイド線は、[リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]で[ガイド線表示]にタッチして表示しておく必要があります。→「リアカメラの設定」(P122)
- [リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]でガイド線をあらかじめ調整しておく必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。
- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラにガイド線は表示されません。

警告

- カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

注意

- 泥や雪などが付着して固まったときは、堅い棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、柔らかい布で拭き取ってください。
- 乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。
- 坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。

表示するには

リアカメラの映像を表示する

1 シフトポジションを「R」にする



リアカメラの映像を表示します。

アドバイス

- シフトポジションを「R」にしたまま[現在地]キーを押して現在地画面を表示すると、現在地画面に  が表示されます。 にタッチするとリアカメラの映像に戻ることができます。
- リアカメラとサイドカメラ(サブカメラ2)の両方が本機に接続されている場合、[カメラ切換]にタッチするとリアカメラとサイドカメラ(サブカメラ2)の映像を切り換えることができます。

サブカメラの映像を表示する

お知らせ

- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが本機に接続されている必要があります。

1 現在地画面で、 にタッチする



※フロントカメラ映像のイメージです。

サブカメラの映像を表示します。

アドバイス

- [INFO]キーにタッチし続けることでも表示させることができます。
- [INFO]キー→[カメラ]にタッチしても表示させることができます。
- 「サブカメラの設定」(P122)で「サブカメラ1」と「サブカメラ2」の両方が本機に接続されている場合、[カメラ切換]にタッチするとサブカメラの映像を切り換えることができます。

FM 文字情報を見る

FM 多重放送による文字情報 (FM 文字多重放送) を確認できます。

FM 文字多重放送とは

FM 放送電波のすき間を利用して音声と一緒に文字情報を送信するサービスです。FM 文字多重放送は、本機に接続している FM アンテナから受信して以下の情報を見ることができます。

番組情報 FM	ラジオ番組と連携した今流れている曲のタイトルやアーティスト名、リクエストの宛先などの情報。
独立情報	ラジオ番組とは関係なく、いつでも見られるニュースや天気、交通などの情報。
緊急情報	放送局が「緊急情報番組」を放送したときのみ表示させる情報。

表示するには

初期の状態では、放送局は登録されていませんので、マニュアル操作による放送局の選局が必要になります。

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2 **FM 文字情報** にタッチする
▼
マニュアル選局画面を表示します。

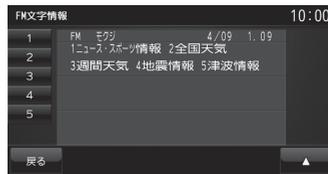
アドバイス

- すでに放送局がプリセットされている場合は、プリセット選局画面を表示します。

- 3 **▼ 周波数 ▲** にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ



- 4 **受信** にタッチする
▼



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理できます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認できます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報 にタッチする



メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の10日前もしくは交換後の走行距離が残り200km以下となります。

3 見たい各“パーツ”にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「前回交換日」は、メンテナンスを実施した日付を表示します。
- 「次回交換予定日」はメンテナンス実施日を表示します。
- 「交換後走行距離」はメンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

■ メンテナンス情報の種類について

お知らせ

- 以下、あらかじめ用意しているパーツのメンテナンス期日およびメンテナンス距離は、工場出荷時の値を示しています。
- 工場出荷時の値については、お車のメンテナンスブックなどを参考に變更しておくことをおすすめいたします。

名称	メンテナンス期日	メンテナンス距離 (km)
エンジンオイル	1年	15,000
オイルフィルタ	1年	15,000
AT/MTオイル	4年	40,000
ブレーキオイル	4年	40,000
デフオイル	8年	80,000
タイヤ交換	1年	10,000
タイヤローテーション	6ヶ月	5,000
ブレーキパッド(F)	1年	5,000
ブレーキパッド(R)	1年	5,000
空気圧チェック	1ヶ月	1,000
ワイパーブレード	1ヶ月	1,000
ラジエタークーラント	4年	40,000
バッテリー	1ヶ月	1,000
エアフィルタ	5年	50,000
ウォッシュャー液	1ヶ月	1,000
ユーザー項目1	—	—
ユーザー項目2	—	—
ユーザー項目3	—	—

バージョンを確認する

地図データバージョンの確認ができます。

表示するには

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → バージョン情報 に タッチする



バージョン情報		10:00
地図データバージョン	20XX年度〇版	
Gracenetデータベースバージョン	***-0000	
ナビプログラムバージョン	00.01.**	
DTVバージョン	00.01.**	
戻る	シリアル No. 12**00**	※-*** D#-****

地図データバージョンを表示します。

本機の設定

その他の設定

NAVIの設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

- 1 **INFO** キーを押す
INFOメニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **Naviの設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

設定できる項目について

表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 (操作音などの設定については、「システム音の設定」(P122)をご覧ください。)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。
VICsの設定	VICsに関する設定の変更が行えます。
自転車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在の補正が行えます。

AVの設定

AV機能に関する各設定を変更します。

- 1 **INFO** キーを押す
INFOメニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **AVの設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

設定できる項目について

CD録音設定	CDの録音に関する設定の変更ができます。
DVD初期設定	DVDの初期設定の変更ができます。
録音速度設定	「高速録音」と「高音質録音」を選択することができます。

INFOの設定

ハンズフリーやBluetooth接続、カメラなどに関する設定が行えます。

- 1 **INFO** キーを押す
INFOメニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **Infoの設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

ETCの設定	別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはDSRC車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。
ハンズフリーの設定	着信や受話/送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。
Bluetoothの設定	市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。
インターネットの設定	使用する携帯電話に応じた接続先を設定できます。
デバイスIDの表示	デバイスIDの確認ができます。
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
サブカメラの設定	フロントカメラまたはサイドカメラの接続設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
レーンアシストの設定	レーンアシスト機能に関する設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
エコ情報の設定	エコ情報に関する設定が行えます。

システムの設定

本機の操作音やパワーアンテナの設定、車両取付確認などが行えます。

- 1 **INFO** キーを押す
INFOメニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **システムの設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

システム音の設定	操作音量の設定が行えます。
パワーアンテナの設定	パワーアンテナに関する設定が行えます。
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。
車両取付確認	取付業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。
起動時セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。

TVの設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

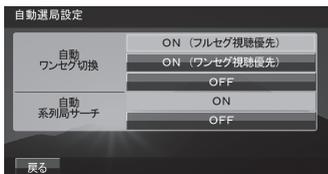
- 1 **AV** キーを押す
AVメニューを表示します。
- 2 **TV** にタッチする
- 3 **画面** にタッチする
テレビの操作画面を表示します。
- 4 **メニュー** にタッチする
- 5 **設定したい“項目”** にタッチする



- 6 **設定したい“内容”** にタッチする



- 7 **“設定”** にタッチする



設定内容を変更します。

設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。
初期設定	ホームCHスキャンのやり直しや地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

Other

困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせて画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車、カーソルの中心が設定中のスケールがあるところからないところに移動した。 または、再びあるところに移動した。	—
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してください。
入力された局番はデータがありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータがありません。 代表地点を表示します。		
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
MAPスロットの地図カードが読めません。 地図カードを確認してください。	地図カードから地図データが読み込めない。	数分たっても復旧しない場合は、お車を安全な場所に停車し、SDカードの挿入状態を確認してください。 →「SDカードについて」(P18) それでも復旧しない場合は、販売店にご相談ください。
	MAPスロットに地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 →「SDカードを挿入する」(P19)
	何らかの原因で地図カードに異常が発生した。	販売店にご相談ください。
入力されたマップコードはデータがありません。	入力したMAPCODEの該当地点が見当たらなかった。	MAPCODEを再度確認してください。
入力されたマップコードはデータがありません。付近の地点を表示します。	MAPCODEの末尾の「*□□」が該当しなかった。	詳細な地点を表示させたい場合は、MAPCODEを再度確認してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類」(P47)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
この iPod は再生できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod を使用してください。 →「iPod を再生する」(P69)
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB 機器は再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC/WAV) について」(P48)
	曲が入っていない iPod/USB デバイスを接続した。	曲が入った iPod/USB デバイスを接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
このディスクの映像方式 (PAL) には対応していません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。 数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
MUSICスロットのSDカードを認識できません。	音楽用SDカードの読み込みに失敗した。	音楽用SDカードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。MUSICスロットに挿入してください。→「SDカードの曲を聴く」(P60)
MUSICスロットのSDカードは使用できません。	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。MUSICスロットに挿入してください。→「SDカードの曲を聴く」(P60)
MUSICスロット側に音楽用SDカードが挿入されていません。	音楽用SDカードがMUSICスロットに挿入されていない。	本機対応のSDカードをMUSICスロットに挿入してください。
MUSICスロットのSDカードに書き込みできません。SDカードを確認してください。	音楽用SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	音楽用SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	音楽用SDカードの容量がいっぱいになったため、MusicFolderに録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。
		別の音楽用SDカードに交換してください。
高温のため録音できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため録音できません。	本機の内部温度が低い。	
BDプレーヤーとの通信ができません。取扱説明書を確認してください。	本機がBlu-ray [®] プレーヤーとの接続を正しく認識できない状態にある。	Blu-ray [®] プレーヤーとの接続が正しく行われているかご確認ください。Blu-ray [®] プレーヤーの接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
このICカードは使用できません	使用できないカードが挿入されている。	正しいカードを挿入してください。 →「miniB-CASカードを入れる」(P75)
ICカードにアクセスできません。ICカードを入れ直してみてください 直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください	カードが故障しているか、間違ったカードを挿入している。	
	カードが故障している。	
ICカードを挿入されていないかロックが外れています。	カードが挿入されていない。または、ロックが外れている。	カードを正しく挿入してください。または、カードのロックを確認してください。 →「miniB-CASカードを入れる」(P75)
放送局が登録されていません。ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「はじめてテレビを見るとき」(P76)
放送局が登録されていません ドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「表示内容について」(P77)

■ ETC機能

別売のETC車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器がセットアップされていません。	ETC車載器がセットアップされていない。	セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。
ETCカードが挿入されていません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。
ETCカードの有効期限が過ぎています。 ETCカードを確認してください。	有効期限が過ぎたETCカードを挿入している。	有効期限が過ぎていないETCカードを挿入してください。
ETCカードの挿入を確認してください。	ETCカードが未挿入または正しく挿入されていない。	ETCカードを正しく挿入してください。
ETCカードを確認してください。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
	ETCカードの金属端子(ICチップ)部分が汚れている。	ETCカードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETCカードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度ETCカードを正しく挿入してください。
	ETCカードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しいETCカードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返されるときは、販売店にご相談ください。
ETC車載器を確認してください。	ETC車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC通信エラーです。	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

オンデマンドVICS(→P104)

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などのVICS情報を取得できます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ Bluetooth接続ができるDUNプロファイルに対応した携帯電話が必要です。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

オンライン受信(→P104)

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信では、「オンデマンドVICS」と「スマートループ渋滞情報[®]」の受信が可能です。

細街路

道幅の狭い一部の道路。100mスケール以下の地図で表示できます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図

スケール 10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自転車

本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートループ渋滞情報[®](→P104)

本製品のスマートループ渋滞情報[®]は、パイオニア カロツツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS渋滞情報と合わせて全国約70万kmにおよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ Bluetooth接続ができるDUNプロファイルに対応した携帯電話が必要です。

※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

スマートIC

スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC車載器またはDSRC車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自車が走ってきた道に印(点線)がつけます。この印(点線)を走行軌跡といいます。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、その情報を元に自車の位置を割り出すことを言います。

電波ビーコン(→P104)

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されています。

光ビーコン(→P104)

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されています。

マップコード

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「*」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。

従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

電話番号 0566-61-4210

受付時間 10:00～12:00

13:00～16:00

(土・日、会社休日を除く)

ホームページ

<http://guide2.e-mapcode.com/>

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自転車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自転車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク(→P83)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

レーンアシスト(→P92)

高速道路や都市高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、または、はみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

DSRC(ディーエスアールシー)(→P109)

DSRC(Dedicated Short Range Communication)とは専用狭域(きょういき)通信の略称で、ETCを含めて路側と車載器間で利用される通信方式です。また、この通信方式を利用して提供されるサービスのうち、ETC以外のサービスのことをDSRCと呼んでETCと区別して用いることもあります。

ETC(→P112)

有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム(Electronic Toll Collection System)のことで、ETC車載器を取り付けることで有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。

FM多重放送(→P117)

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。

GPS(ジーピーエス)(→P81)

GPSは、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回している4つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけて再生

音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。

その間も録音はつづけられます。

プレイリスト

MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

ID3-Tag

MP3ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにしファイルとして格納しています。

MusicFolder (→P64)

挿入した音楽CDの曲を、音楽用SDカードに録音する機能です。

OpenInfo

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。

OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。

また、高速道路の開通道路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。

OpenInfo では、以下の機能がご利用になれます。

- ・スマートループ渋滞情報® (→P104)

- ・開通道路情報更新

- ・充電スタンド情報更新

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。別紙「OpenInfo サービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

VICS (ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム)の略称です。VICSレーダーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3Dリアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

Sound Settings 関連用語

音質調整に関する用語を説明します。

アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー

現在イコライザーの主流となっているIIR（無限インパルス応答）方式は、調整は容易ですが演算回数が多く演算誤差が蓄積されるため音質が著しく劣化します。

一方FIR（有限インパルス応答）方式は、演算回数が少なく音質劣化は最小限に抑えられますが、任意の周波数ポイントでの個別調整が難しいという特性があり、イコライザーへの使用は困難でした。

「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」は、調整時は40bitIIR方式で演算し、再生時には一端64bit演算コアに高精度演算変換をした後、さらにFIR演算方式に変換するため、容易な調整操作と高音質の両立を実現しています。

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワーク

各スピーカーユニットごとに再生周波数帯域や音量バランスを任意に設定できるのが、クロスオーバーネットワークです。

この機能も「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」と同一の信号処理によって実現されており、64bit演算コアの高精度演算をFIR演算に変換することで、音質を飛躍的に高めました。

イコライザー

周波数特性を調節することができる装置や機能のことを言います。

画像

スピーカーから出力された音で再現されるボーカル、楽器などの位置や輪郭を言います。

音場

スピーカーから出力された音で再現される演奏状況や空間を言います。

カットオフ周波数

ハイパスフィルターやローパスフィルターで減衰させたポイントの周波数を言います。

クロスオーバー

クロスオーバーネットワークとも言い、2Wayや3Wayスピーカーで再生周波数帯域を分割する機能や装置のことを言います。

クロスオーバー周波数

クロスオーバーネットワークで分割された周波数帯域の境目を言います。

ゲイン

電気信号を増幅する装置または増幅した値を言います。

スロープ

ハイパスフィルターやローパスフィルターでの減衰度合いを言います。

1オクターブあたり何デシベル落ちるかを設定するもので、マイナスの値が大きいほど急激に減衰し小さいほど緩やかに減衰します。

タイムアライメント

各スピーカーからリスニングポジションまでの音の到達時間を補正する機能のことを言います。

この機能を使用することで、中央で聴くことができない車の中で音の聴こえるタイミングを合わせることができます。

ハイパスフィルター

ローカットフィルターとも言い、高い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して低い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

パッシブクロスオーバーネットワーク

アンプ（本機または別売の外部アンプ）とスピーカーとの間に設置するもので、各スピーカーが持っている再生周波数帯域に分割した信号を送り込む装置（コイル、コンデンサ等）のことを言います。

フルレンジスピーカー

高域から低域までの周波数帯域を1つのユニットでカバーするスピーカーのことを言います。

実際には音楽CDの周波数帯域をすべてカバーすることが難しいため、2Wayや3Wayなどのスピーカーを使用することが一般的とされています。

マルチアンプシステム

2Wayや3Wayなどで用いられる方法で、高音/中音/低音のそれぞれの音域に対して、専用のアンプを接続し動作させるシステムです。

リスニングポジション

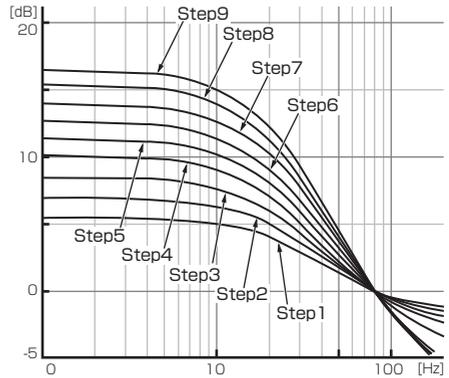
音を最適に聴く位置のことを言います。

ローパスフィルター

ハイカットフィルターとも言い、低い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して高い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

ローブースト

低域だけを持ち上げる機能のことを言います。



表示	特性 (dB/oct)
Step 0	Flat
Step 1	2.0
Step 2	2.5
Step 3	3.0
Step 4	3.5
Step 5	4.0
Step 6	4.5
Step 7	5.0
Step 8	5.5
Step 9	6.0

2Wayスピーカー

ツイーターとウーファーなど2つのユニットで構成されるスピーカーです。2つのユニットを組み合わせることで高域と低域をカバーすることが可能となります。2つのスピーカーに分かれたセパレートタイプや1つのスピーカーに2つのユニットが装着されたコアキシャルタイプがあります。

3Wayスピーカー

ツイーターとミッドレンジ、ウーファーと3つのユニットで構成されるスピーカーです。3つのユニットを組み合わせることで高域、中域、低域をカバーすることが可能となります。2Wayよりもそれぞれのスピーカーの特性を活かすことができるため、余裕を持って動作させることができます。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。

※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに  と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面が表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

dts

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL方式、SECAM方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリアCH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができ放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブCH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号（13ch～62chまで）のことを言います。

フルセグ

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホームCH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことで、

1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことで、

3桁チャンネル番号

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

その他の機器への接続について

機器やケーブルの仕様および型番は2013年7月現在のものを記載しております。仕様および型番は予告なく変更されることがあります。本書の記載内容と異なる場合がございますがご容赦ください。

Blu-ray [®] プレーヤー	三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤー BD-P100
ETC 車載器	三菱電機製ナビゲーション接続用ETC車載器 ※ ETC車載器のみ接続する場合は接続ケーブル (LE-44EC-7L / EP-9CN9T) を 使用します。 ※ VICSと同時接続する場合は接続ケーブル (LE-90BEC-7L) を使用します。
DSRC 車載器	三菱電機製 DSRC 車載器 ※ 接続ケーブル (LE-68FF-2SS または LE-64FF-2SS) を使用します。
VICS	光 / 電波ビーコン受信機 (CJ-95H) ※ ETC車載器と同時接続する場合は接続ケーブル (LE-90BEC-7L) が必要です。
iPod 接続ケーブル	LE-21AV-MM
HDMI 変換ケーブル	LE-EAAV-MM
外部入出力ケーブル	LE-1610AV-FF
ドラコンⅢ	RE-MZ50
リアカメラ	BC-20M 推奨

ソフトウェアについて

オープンソースソフトウェア

FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

Gracenote サービス

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ:copyright © 2000-present Gracenote, Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。

Gracenote, CDDDB, MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを読み取り、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz
受信方式		パラレル12チャンネル
受信感度		-130dBm
測位更新時間		約1秒
地図カード部		16GB
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W×4
	適合スピーカーインピーダンス	4Ω
イコライザー部	10バンドイコライザー	31.5/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz 調整幅レベル：±12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW*1、DVD+R/RW、 CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAV フォーマット) *1) VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	5Hz～20,000Hz (CD-DA)
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM:76.0～90.0MHz AM:522～1629kHz
	実用感度	FM:12dBf、AM:32dBμ
	S/N	FM:60dB IHF-A、AM:50dB
	左右分離度	FM:20dB (1kHz)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式 (日本)
	受信チャンネル	13～62ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder部	形式	SD-Audio規格
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
音楽用 SDカード部	対応容量	最大32GB (SDHC規格対応/CPRM対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下

GPS アンテナ		
防水		防噴流仕様
方式		マイクロストリップ平面アンテナ
モニター		
画面サイズ		7インチ WVGA
タッチパネル		抵抗感圧式アナログ (フィルム+ガラス)
外部接続		
外部入力	Audio 機器など (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p 音声 : 2.0Vrms MAX (1kHz)
外部出力	アンプ用 (4ch)	音声 : 1.8Vrms MAX (1kHz 0dB)
	サブウーファー用 (2ch)	音声 : 1.8Vrms MAX (100Hz 0dB)
	後席モニターなど (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p
カメラ入力 (RCA 3 系統)		映像 : NTSC 1.0Vp-p
HDMI 入力		HDMI Type-E コネクタ
電源・寸法・質量		
使用電源		DC13.2V (マイナスアース)
最大消費電流		MAX13A
動作温度		-10℃ ~ +55℃
外形寸法		約 幅 180 × 高さ 100 × 奥行 184mm
質量		約 3.3kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。

- 三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店が弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱カーインフォメーションセンターにお申しつけください。

お問い合わせ先 三菱カーインフォメーションセンター
フリーダイヤル **0120-182-710**
(土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ~ 17:30)

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

案内開始	97,99
イコライザー	43,132
インターネットの設定	122
エコ運転評価	110
エコ情報	24,110
エコ情報の設定	122
エコ情報履歴	110
エリア	77,78
エリアCH	135
追いかけて再生	131
オーディオ機能	45
オートセレクト	49
音楽CD	51
音楽ファイル	48,54
音質調整	25
音声	58,123
音声の設定	121,122
音像	37,132
オンデマンドVICS	104,129
音場	37,132
オンライン受信	104,129
オンラインで受信する	108
音量を調節する	15

カ行

ガイド線	115
各アイコン	84
カットオフ周波数	40,132
カメラ	24,115
カメラ設定	122
観光ルート	23
規制情報	106
起動時セキュリティの設定	122
クロスオーバー	38,40,132
クロスオーバー周波数	41,132

経由地	99
系列局	77
系列局サーチ	78
ゲイン	40,132
言語コード	134
現在地	15,82,86
高速道路情報	95
交通情報	22
小文字/大文字	87

サ行

細街路	129
再生できるディスクの種類	47
サブカメラ	116
サブメニュー	52,55,73,86
市街地地図	129
自転車	129
自転車位置の補正	121
システムの設定	122
施設ジャンル	23
施設名称	23
施設名称入力用キーボード	88
自宅	23,96,102
視聴設定	123
ジャイロセンサー	129
車速センサー	129
住所	23
渋滞予測経路	99
周辺検索	23
受信機設定	123
仕様	139
省エネ情報	99
商標	8
情報確認	123
初期設定	123
スクロール	83,91
スケール	91
スケールアイコン	91
スマートIC	95,129
スマートフォンから探す	98
スマートループ渋滞情報 [®]	104,129
スロープ	40,132

設定	24
センシングリルート	129
全ルート	100
走行軌跡	129
走行制限	78
走行中の操作制限	8
測位	129

タ行

タイトル	134
タイトル情報	51,53
タイムアライメント	37,39,133
タッチ操作	21
タブスイッチ	21
探索条件	99,101
探索条件設定	99
探索の設定	121
地図データ更新	24
地点メニュー	83,85
チャプター	134
続き再生	134
ディスク挿入口	16
ディスクを取り出す	46
ディスプレイ	15
デバイスID	122
電波ビーコン	104,129
電話	24
電話 / 郵便番号	23
電話をかける	114
電話を使う	113
登録地	102
登録地情報	103
登録地の設定	102
登録地 / 履歴	23
ドライブ	77,78
ドライブCH	135
ドライブCHスキャン	78
ドルビーデジタル	134

ナ行

ナビ画面	82
ノーマルバナー	77

ハ行

バージョン情報	120
ハイパスフィルター	40,133
パッシブクロスオーバーネットワーク	133
半角 / 全角	87
番組内容	77
光ビーコン	104,129
ビデオ再生情報画面	70
ビデオメニュー	71
表示の設定	121
フォルダの構成	48
物理チャンネル番号	135
プリセットスイッチ	49
フルセグ	135
フルレンジスピーカー	133
プレイリスト	131
変換	87
方位アイコン	89
放送モード	135
ホーム	77,78
ホームCH	135
ホームCHスキャン	76
本機	15
本機の設定	121

マ行

マップコード	130
マップマッチング	81,130
マルチアングル	134
マルチアンプシステム	133
マルチ編成	135
ミュージックメニュー	70
無変換	87
メッセージ	124
メニュー	77
免責事項	6
メンテナンス情報	24,118
目的地の設定	96
文字入力	87
モニター OPEN	19

ヤ行

用語解説 129

ラ行

ラジオ 49

ランドマーク 130

リアカメラ 116

リスニングポジション 25,37,133

(リニア)PCM 134

リモコン番号 77,78,135

ルート確認 100

ルート消去 101

ルートの変更 101

ルート編集 23,101

レーンアシスト 92,130

レターボックス画面 134

ローパスフィルター 40,133

ロープースト 40,133

録音する 62

ワ行

ワイドソフト 134

ワンセグ 135

ワンセグ/フルセグ 77

A

AM 49

Audio OFF 22,45

Audio ON 22,45

AV 15,45

AVメニュー 22

B

Bluetooth Audio 22,79

Blu-ray® 22

C

CHモード 77,78,135

CPRM 134

D

DISC 22

DSRC 109,130

dts 134

DVDビデオ 56

E

EPG 77,135

ETC 24,112,130

ETCの履歴 112

eスタートマスターレベル 110

F

FM1 49

FM2 49

FM多重放送 104,130

FM文字情報 24,117

G

GPS 81,130

Gracenote 137

H

HDMI出力機器 22

I

ID3-Tag 131

INFO 15

INFOの設定 122

INFOメニュー 24

iPod 22

M

MAPCODE 23

MAPスロット 16,19

miniB-CASカード 74

miniB-CASカード挿入口 16

MPEG 134

MusicFolder 131

MusicFolder を聴く 64

MUSIC スロット 16,19

N

NAVI 15

NaviCon 98

NAVI の設定 121

NAVI メニュー 23,84

NTSC 134

O

OpenInfo 8,131

P

P ANT OFF 22

P ANT ON 22

PLAYLIST 65,66,67

R

RADIO 22

S

SD/MusicFolder 22

SD カード 18

SD カードの曲を聴く 60

Sound Settings 25

T

TITLE 57,58

TUNE 49

TV 22,74,76

TV の設定 123

U

USB 22

USB デバイス 72

USB メモリ 22

V

VICS 104,131

VICS 記号 107

VICS スイッチ 105

VICS センター 107

VICS の設定 121

VOL 15

数字

2Way スピーカー 133

3Way スピーカー 133

3D ビューマップ 89

3D リアルジャンクション 131

3 桁チャンネル番号 135

5 ルート 99



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)